

令和4年度

「市民意識調査」

集計・分析結果報告書

令和4年 7月

千 曲 市

目次

1. 調査の概要

- (1) 調査の目的 1
- (2) 調査方法 1
- (3) 調査票の配布及び回収結果 1
- (4) 集計結果の取り扱いについて 1

2. 回答者の属性

- (1) 性別 2
- (2) 年齢 2
- (3) 職業 3
- (4) 職業の場所 4
- (5) 家族構成 4
- (6) 居住区域 5
- (7) 居住年数 6

3. 調査の結果

- (1) 市政への満足度と重要度 7
 - ① 市政への満足度 7
 - ② 市政にとっての重要度 14
 - ③ 満足度と重要度の相関 21
- (2) 市政への要望 22
- (3) 市政に対する不満 25
- (4) 日本遺産『月の都 千曲』について 28
- (5) 千曲市の変化について 30

4. 千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略—平成28年度との比較—

- (1) 具体的施策の比較 32
 - ① 満足度と重要度の平均スコア一覧 32
 - ② 満足度と重要度の平均スコア推移 33
- (2) 基本目標の比較 34
 - ① 満足度と重要度の平均スコア一覧 34
 - ② 満足度と重要度の平均スコア推移 34

5. 資料

第二次千曲市総合計画 まちづくりの目標体系

千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略と第二次千曲市総合計画(設問)整合

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

市民意識調査（旧市民満足度調査）は、『千曲市総合計画』に掲げた32項目の達成方針（巻末資料参照）について、市民の皆様が「どの項目を重要と考え、どの項目に満足しているのか」をお聞きし、今後の市政運営に反映させるため、平成20年度から実施しています。

令和4年度の本調査では、前年度までの調査に加え、令和2年6月に文化庁から日本遺産に認定された「月の都 千曲」についてお聞きしました。また前回同様、「千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成27年度～令和3年度)」について、平成28年度との調査結果の比較を実施しました。

(2) 調査方法

- ① 調査対象 満18歳以上の市民
- ② 標本数 2,000人
- ③ 調査区域 千曲市全域
- ④ 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- ⑤ 調査方法 郵送方式(料金受取人払いの返信用封筒を添えて郵送)
Web方式(インターネットを使用して回答)
- ⑥ 調査期日 令和4年5月19日～令和4年6月6日

(3) 調査票の配布及び回収結果

- ① 調査票配布数 2,000票
- ② 有効回収数 1,096票(うちWeb回答数172票)
- ③ 有効回収率 54.8%(うちWeb回答率 8.6%)

前回(令和3年度)配布及び回収結果

(1) 調査票配布数	2,000票
(2) 有効回収数	1,268票 (うちweb回答数160票)
(3) 有効回収率	63.4% (うちweb回答数8.0%)

(4) 集計結果の取り扱いについて

- ① 各項目の集計結果について、個々の項目はそれぞれ小数第2位を四捨五入して算出した。したがって、比率の合計が必ずしも100%にならない、または数値が一致しない場合がある。
- ② 「18・19歳」の回答者数が極端に少ない為、集計結果が必ずしも目的に対して正しく反映されているとは限らない点もあるが、参考として表示するものとする。
- ③ 回答者がいなかった属性については表の作成を省略している。

2. 回答者の属性

(1) 性別

性別では、「男性」が46.1%、「女性」が52.2%で、女性の回答者の方が多い。

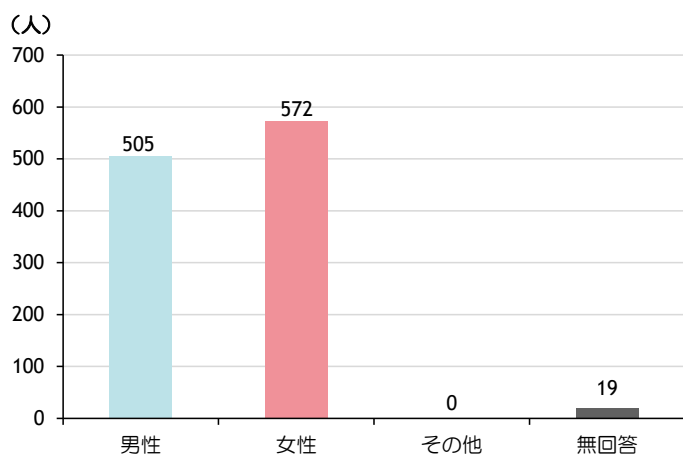


図 2-1-1 性別回答者数

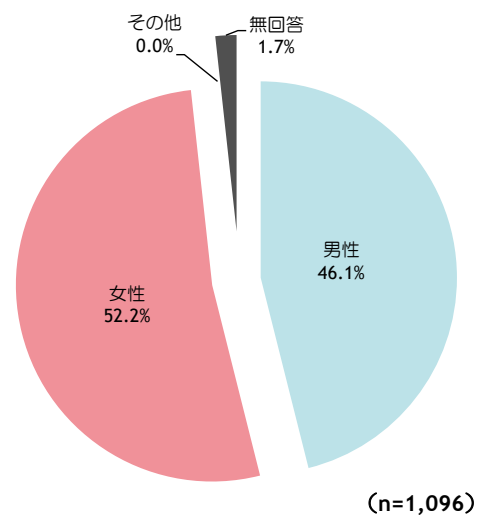


図 2-1-2 性別回答者割合

(2) 年齢

年齢別では、「70歳以上」が35.2%、「60～69歳」が18.4%となっており、60歳以上の回答者が全体の半数以上を占めている。

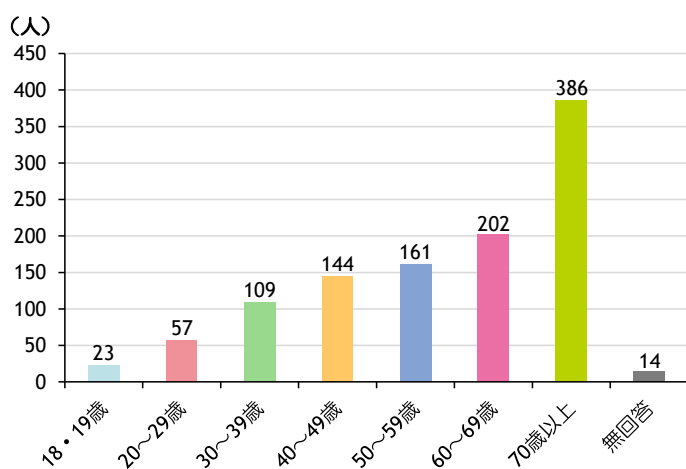


図 2-2-1 年齢別回答者数

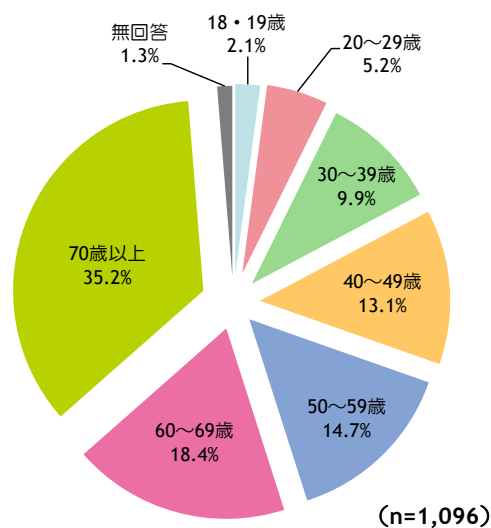


図 2-2-2 年齢別回答者割合

男女別の回答者年齢の割合では、「40～49歳」で男女の差が大きくなった。

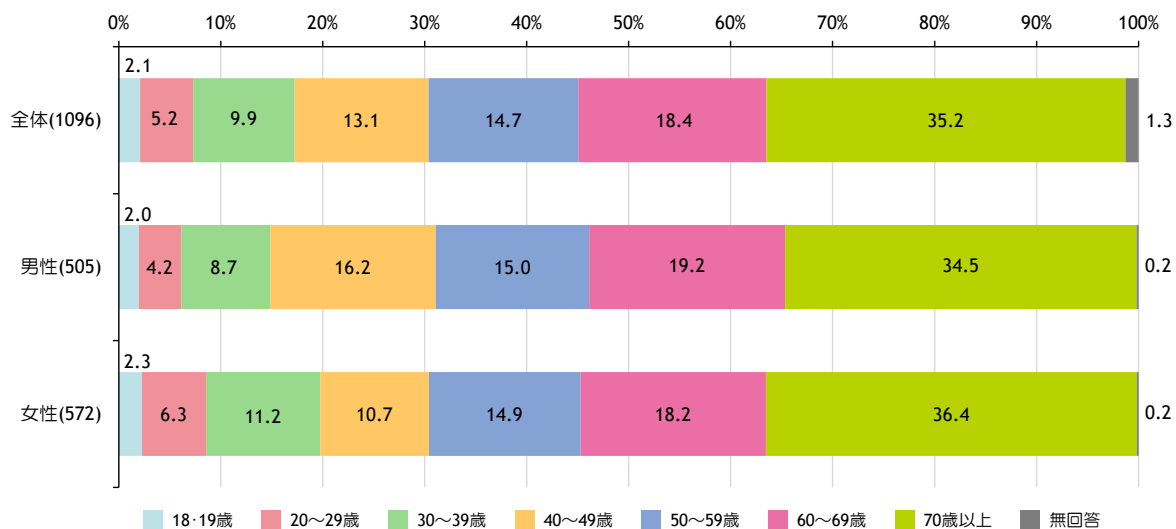


図 2-2-3 性別による年齢の回答者割合

(3) 職業

職業別では、「専業主婦・主夫、無職 (32.6%)」が最も多く、次いで「会社員 (25.5%)」となっている。

形態別では、(農林水産業)と(商工サービス業ほか)を合わせた“自営業”が 11.3%、「会社員」「公務員」「団体職員」「パート・アルバイト」を合わせた“勤め人”が 44.9%、「専業主婦・主夫、無職」が 32.6%となっている。

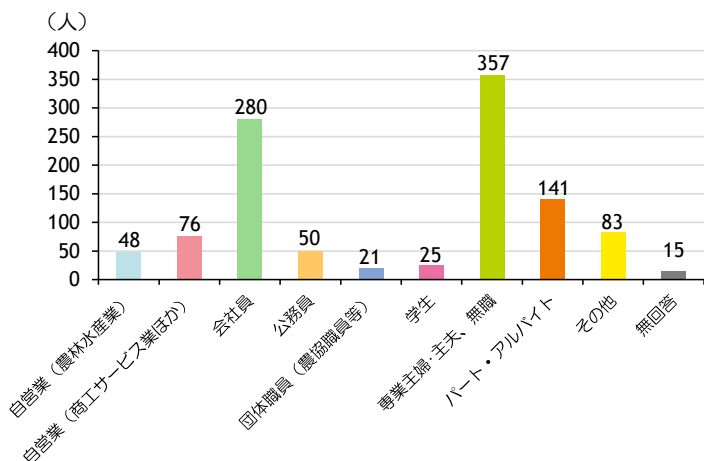


図 2-3-1 職業別回答者数

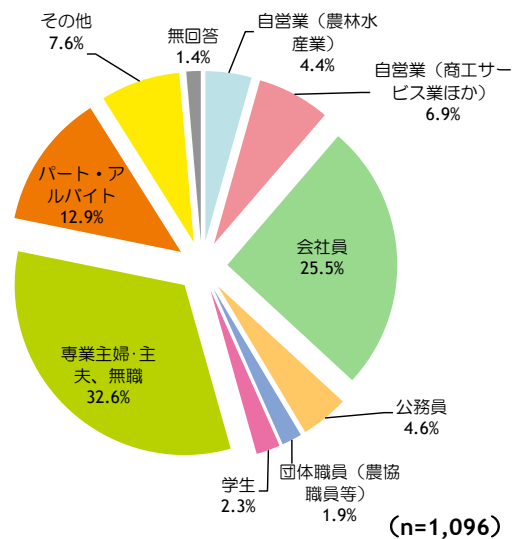


図 2-3-2 職業別回答者割合

(4) 職業の場所

職業(通勤先・通学先)の場所別では、「市内(54.5%)」が「市外(36.8%)」を上回った。

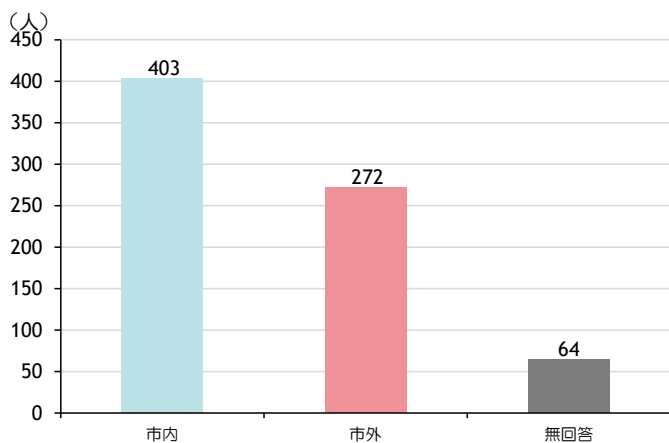


図 2-4-1 職業の場所別回答者数

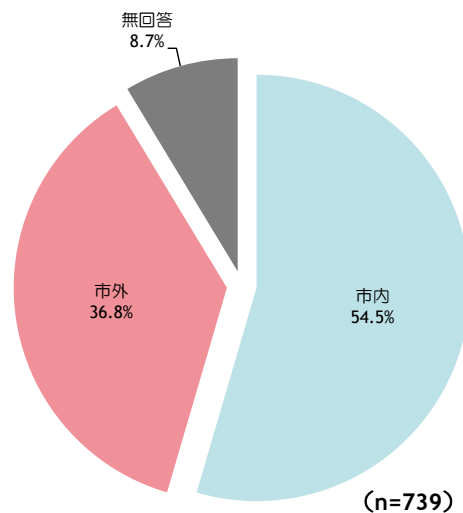


図 2-4-2 職業の場所別回答者割合

(5) 家族構成

家族構成別では、「二世世代世帯(親と、子と、孫と、祖父母と)(43.5%)」が最も多く、次いで「夫婦(29.7%)」、「三世世代世帯(8.5%)」となっている。

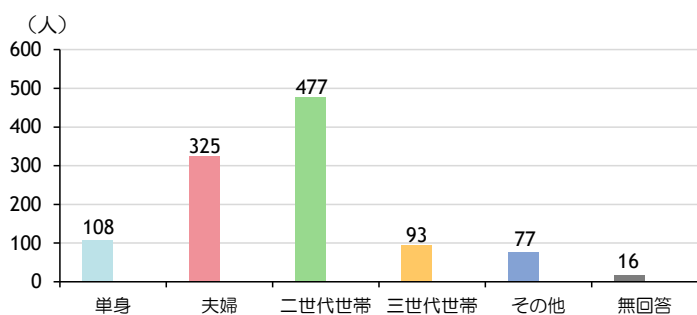


図 2-5-1 家族構成別回答者数

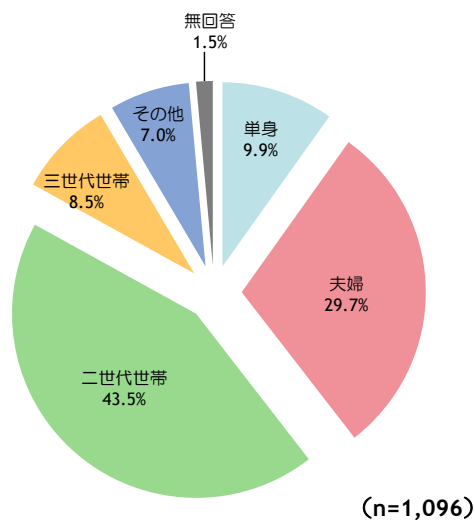


図 2-5-2 家族構成別回答者割合

(6) 居住区域

居住区域別では、「埴生小学校区(16.5%)」が最も多く、「更級小学校区(6.4%)」が最も少ない。埴生小学校区、更級小学校区を除く7小学校区の回答者割合はばらつきがあるものの、大きな差はみられない。

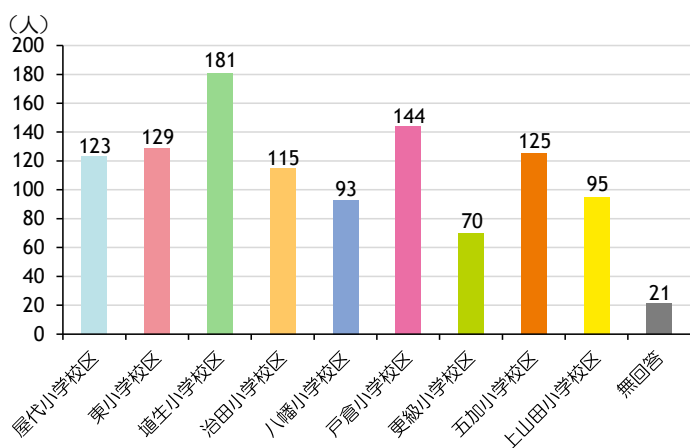


図 2-6-1 居住区域別回答者数

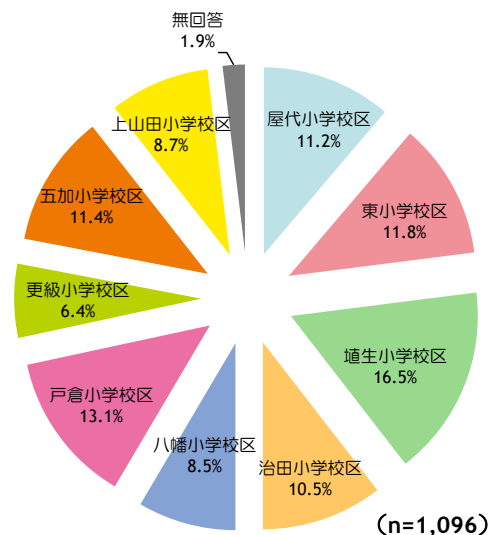


図 2-6-2 居住区域別回答者割合

【参考】

～通学区域～

屋代小学校	大字屋代、大字粟佐
東小学校	大字雨宮、大字土口、大字生萱、大字森、大字倉科
埴生小学校	大字寂蒔、大字鋳物師屋、大字打沢、大字小島、大字桜堂、 大字杭瀬下、杭瀬下一・二・三・四・五・六丁目、大字新田、大字中
治田小学校	大字稻荷山、大字野高場、大字桑原、大字八幡のうち中原区
八幡小学校	大字八幡(中原区を除く)
戸倉小学校	大字磯部、大字戸倉、大字戸倉温泉、大字若宮のうち八王子地区、 大字上徳間のうち今井町区・柏王区、大字内川のうち柏王区
更級小学校	大字若宮(八王子地区を除く)、大字羽尾、大字須坂
五加小学校	大字上徳間(今井町区・柏王区を除く)、大字内川(柏王区を除く)、 大字千本柳、大字小船山
上山田小学校	大字力石、大字新山、大字上山田、上山田温泉一・二・三・四丁目

(7) 居住年数

居住年数別では、「30年以上(64.7%)」が最も多く6割以上を占めており、「5年未満(4.7%)」が最も少ない。

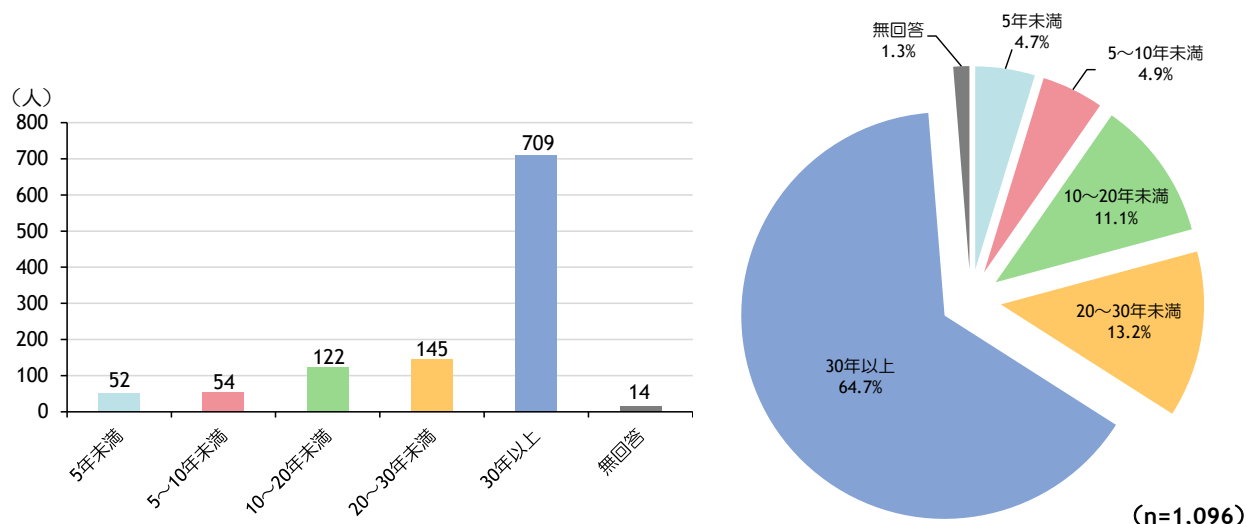


図 2-7-1 居住年数別回答者数

図 2-7-2 居住年数別回答者割合

<居住区域でみる居住年数>

どの小学校区も居住年数「30年以上」が最も多くおおむね6~7割を占めている。居住年数30年未満については、居住年数と回答者割合は一概に比例しておらず、居住区域でばらつきがある。

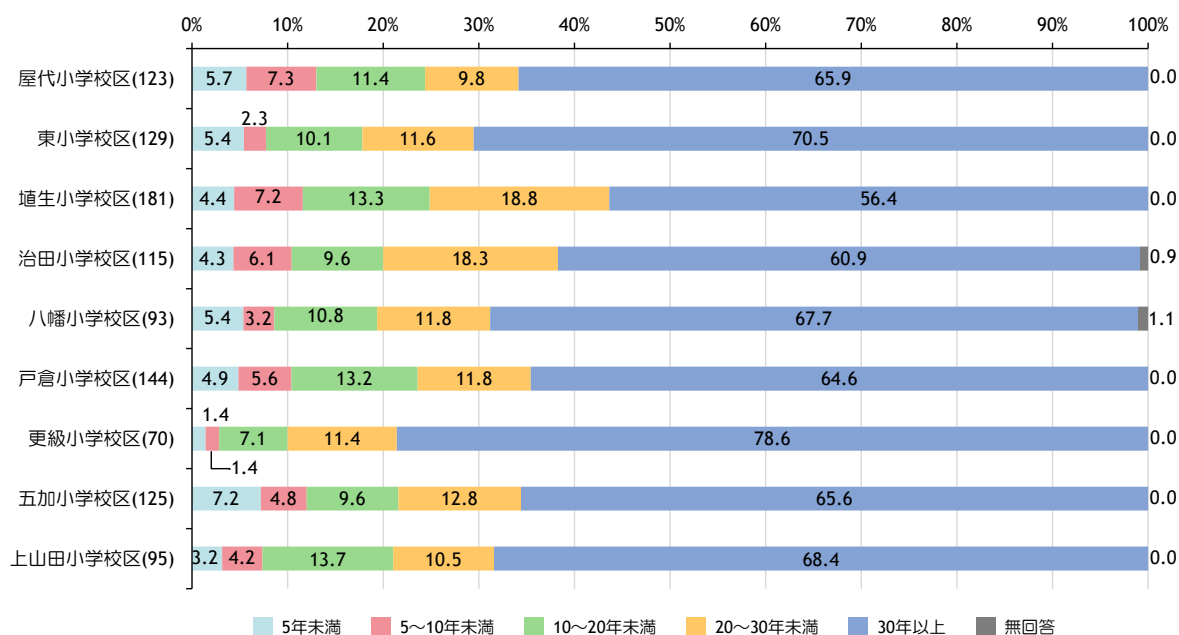


図 2-7-3 居住区域別居住年数の回答者割合

3. 調査の結果

(1) 市政への満足度と重要度

① 市政への満足度

<設問について>

第二次千曲市総合計画に掲げた達成方針 32 項目（巻末資料参照）に対する満足度について、「そう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」「わからない」の 5 段階のうち、該当する 1 つについて回答を得た。

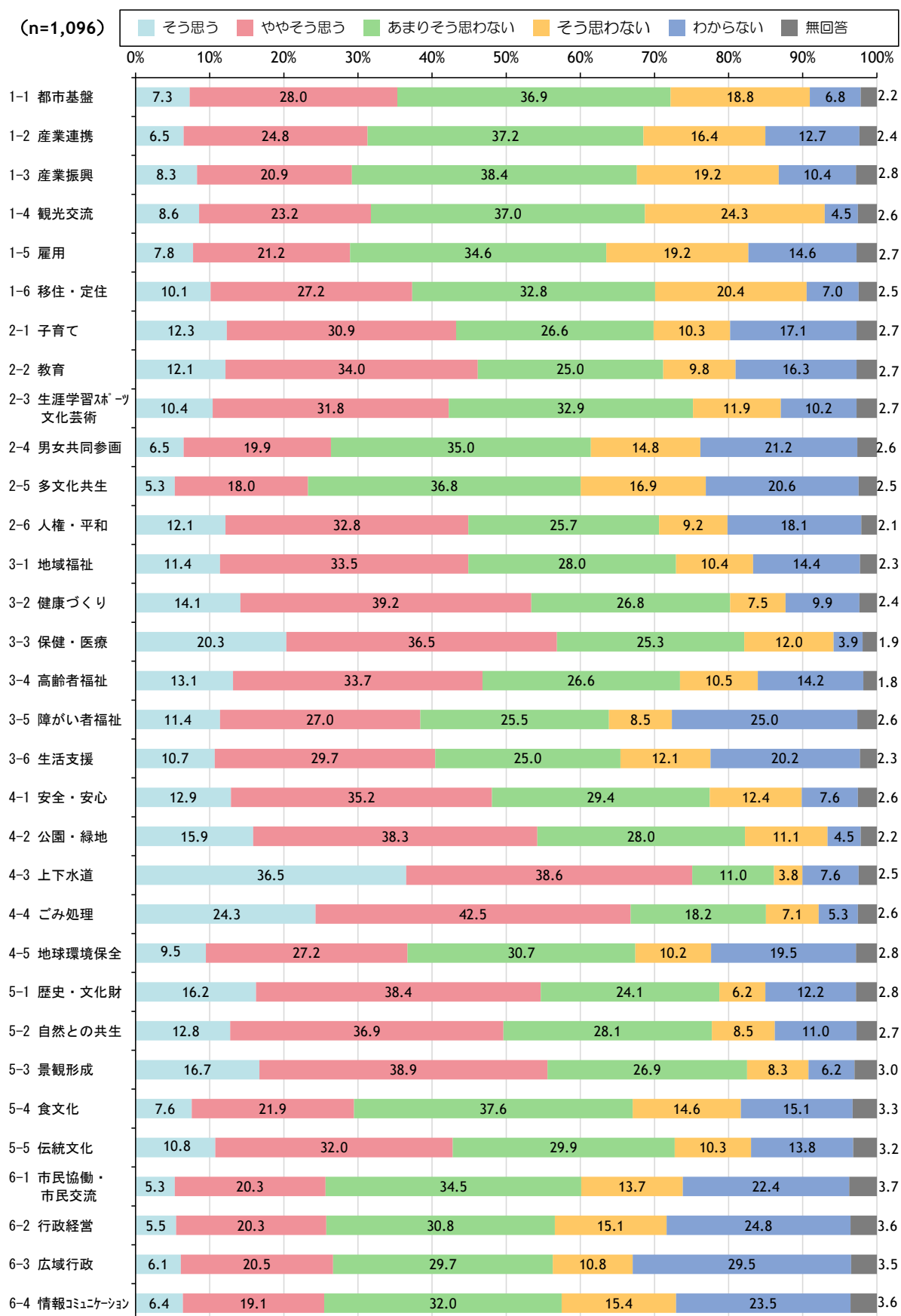
「そう思う」と「ややそう思う」の 2 つを合わせた“満足度が高い”項目をみると、最も高い項目は「上下水道(75.1%)」である。次いで「ごみ処理(66.8%)」「保健・医療(56.8%)」「景観形成(55.6%)」の順となっている。

「あまりそう思わない」と「そう思わない」の 2 つを合わせた“満足度が低い”項目を見ると、最も低い項目は「観光交流(61.3%)」である。次いで「産業振興(57.6%)」「都市基盤(55.7%)」の順となっている。

「第二次千曲市総合計画」の目標体系別（巻末資料参照）に見ると、「基本目標④(災害に強く、安全で心穏やかに暮らせるまち)」に該当する項目の満足度が高く、「公園・緑地(54.2%)」「上下水道(75.1%)」「ごみ処理(66.8%)」が 5 割を超えている。

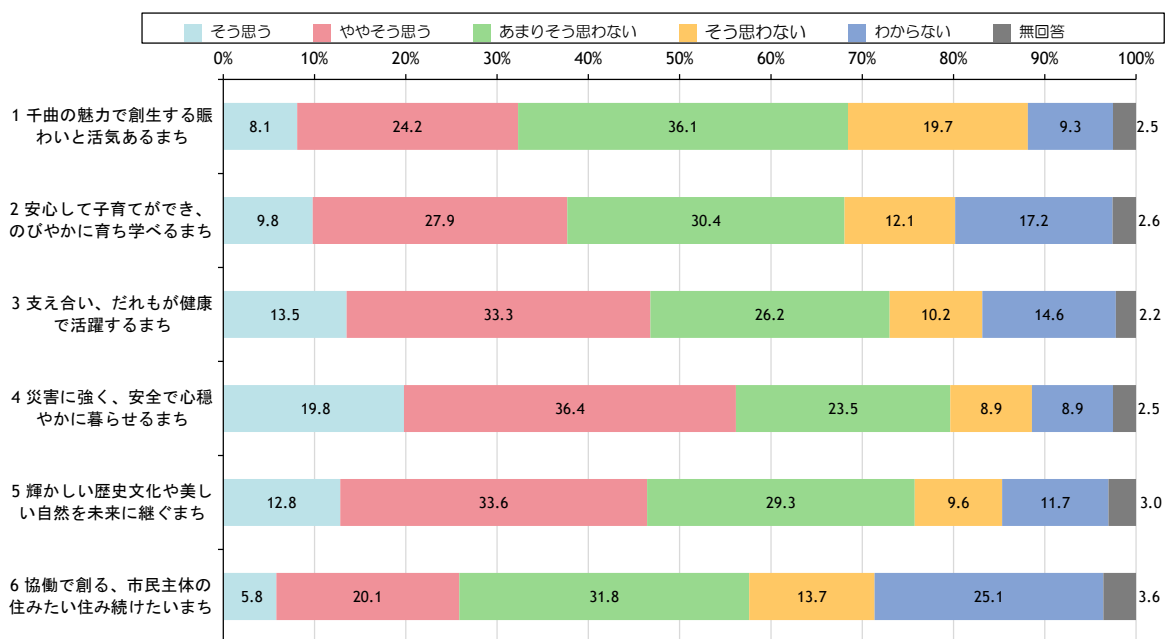
一方、「基本目標⑥(協働で創る、市民主体の住みたい住み続けたいまち)」に該当する項目の満足度は低く、「市民協働・市民交流(25.6%)」「行政経営(25.8%)」「広域行政(26.6%)」「情報コミュニケーション(25.5%)」全ての項目が 3 割以下となっている。

図 3-1-1-1 市政への満足度回答割合



「そう思う」と「ややそう思う」の2つを合わせた“満足度が高い”項目を基本目標ごとでみると、「4 災害に強く、安全で心穏やかに暮らせるまち」が56.2%と最も高くなっている。「あまりそう思わない」と「そう思わない」の2つを合わせた“満足度が低い”項目を見ると、「1 千曲の魅力で創生する賑わいと活気あるまち」が最も低く55.8%となった。

図 3-1-1-2 市政への満足度回答割合(基本目標ごと)



<満足度の平均スコア>

32項目の市政への満足度について、「そう思う」に+10点、「ややそう思う」に+5点、「あまりそう思わない」に-5点、「そう思わない」に-10点の点数を与え、平均スコアを求めた。これによると平均スコアの最大は+10点、最小は-10点であり点数が大きいほど満足度が高いことになる。

平均スコアが最も高い項目は、「上下水道(5.16)」である。次いで「ごみ処理(3.18)」「歴史・文化財(2.02)」「景観形成(1.58)」の順となっている。

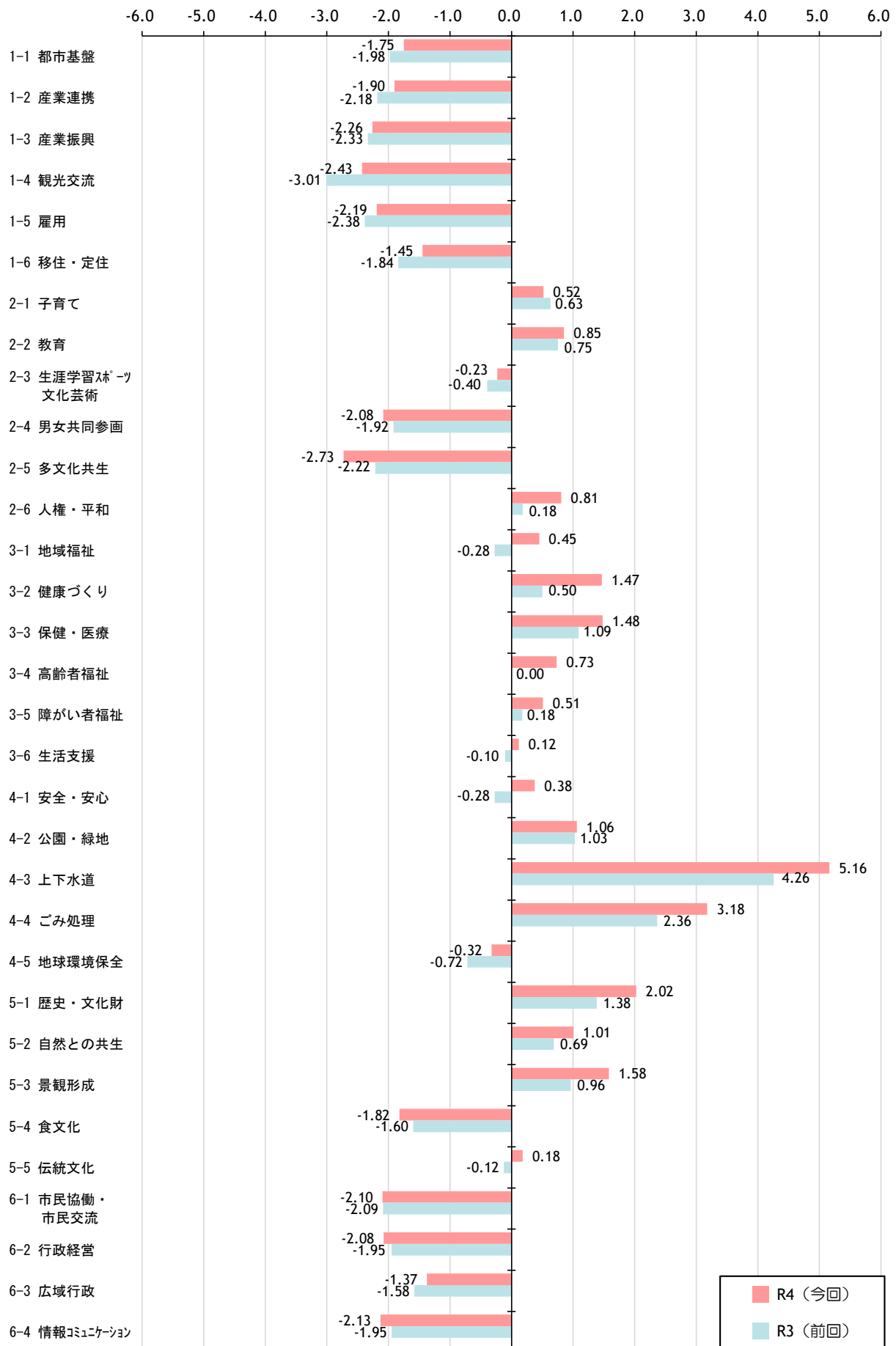
平均スコアが最も低い項目は、「多文化共生(-2.73)」である。次いで「観光・交流(-2.43)」「産業振興(-2.26)」「雇用(-2.19)」「情報コミュニケーション(-2.13)」の順となっている。

32項目全体の平均スコアは-0.17点で、前回は0.30点上回った。

表 3-1-2 満足度平均スコア（ランク順）

ランク			項 目	ポイント数		
R4 (今回)	順位 変動	R3 (前回)		R4 (今回)	R3 (前回)	差
1	→	1	4-3 上下水道	5.16P	4.26P	0.90
2	→	2	4-4 ごみ処理	3.18P	2.36P	0.81
3	→	3	5-1 歴史・文化財	2.02P	1.38P	0.64
4	↑	6	5-3 景観形成	1.58P	0.96P	0.62
5	↓	4	3-3 保健・医療	1.48P	1.09P	0.39
6	↑	10	3-2 健康づくり	1.47P	0.50P	0.97
7	↓	5	4-2 公園・緑地	1.06P	1.03P	0.03
8	→	8	5-2 自然との共生	1.01P	0.69P	0.32
9	↓	7	2-2 教育	0.85P	0.75P	0.10
10	↑	11	2-6 人権・平和	0.81P	0.18P	0.63
11	↑	13	3-4 高齢者福祉	0.73P	0.00P	0.73
12	↓	9	2-1 子育て	0.52P	0.63P	△ 0.11
13	↓	12	3-5 障がい者福祉	0.51P	0.18P	0.33
14	↑	16	3-1 地域福祉	0.45P	-0.28P	0.72
15	↑	17	4-1 安全・安心	0.38P	-0.28P	0.65
16	↓	15	5-5 伝統文化	0.18P	-0.12P	0.31
17	↓	14	3-6 生活支援	0.12P	-0.10P	0.22
18	→	18	2-3 生涯学習ｽﾍﾞｰｽ文化芸術	-0.23P	-0.40P	0.17
19	→	19	4-5 地球環境保全	-0.32P	-0.72P	0.39
20	→	20	6-3 広域行政	-1.37P	-1.58P	0.20
21	↑	22	1-6 移住・定住	-1.45P	-1.84P	0.39
22	↑	26	1-1 都市基盤	-1.75P	-1.98P	0.23
23	↓	21	5-4 食文化	-1.82P	-1.60P	△ 0.22
24	↑	28	1-2 産業連携	-1.90P	-2.18P	0.28
25	↓	24	6-2 行政経営	-2.08P	-1.95P	△ 0.13
26	↓	23	2-4 男女共同参画	-2.08P	-1.92P	△ 0.17
27	→	27	6-1 市民協働・市民交流	-2.10P	-2.09P	△ 0.01
28	↓	25	6-4 情報コミュニケーション	-2.13P	-1.95P	△ 0.18
29	↑	31	1-5 雇用	-2.19P	-2.38P	0.19
30	→	30	1-3 産業振興	-2.26P	-2.33P	0.07
31	↑	32	1-4 観光交流	-2.43P	-3.01P	0.58
32	↓	29	2-5 多文化共生	-2.73P	-2.22P	△ 0.51
平 均				-0.17P	-0.47P	0.30

図 3-1-3 満足度の平均スコア（項目順）



<性別・年齢別の満足度平均スコア>

性別では、1位と2位が同じ項目(上下水道、ごみ処理)となっており、「歴史・文化財」は男女とも4位以内となった。

年齢別では、「上下水道」が全ての年齢層で1位となっている。そのほか同じ項目が上位に入っているものの、年齢層によってばらつきが多い結果となった。

		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体 (n=1096)		上下水道 (5.16)	ごみ処理 (3.18)	歴史・文化財 (2.02)	景観形成 (1.58)	保健・医療 (1.48)
性 別	男 性 (n=505)	上下水道 (4.63)	ごみ処理 (2.60)	歴史・文化財 (1.96)	保健・医療 (1.57)	健康づくり (1.23)
	女 性 (n=572)	上下水道 (5.60)	ごみ処理 (3.69)	景観形成 (2.09)	歴史・文化財 (2.07)	健康づくり (1.66)
年 齢 別	18・19歳 (n=23)	上下水道 (7.25)	歴史・文化財 (4.25)	ごみ処理 (3.81)	公園・緑地 (3.41)	景観形成 同4位(3.41)
	20～29歳 (n=57)	上下水道 (5.19)	自然との共生 (4.10)	保健・医療 (3.06)	ごみ処理 (2.88)	教育 (2.70)
	30～39歳 (n=109)	上下水道 (4.20)	自然との共生 (2.63)	公園・緑地 (2.36)	歴史・文化財 (2.01)	ごみ処理 (1.86)
	40～49歳 (n=144)	上下水道 (4.73)	ごみ処理 (2.14)	歴史・文化財 (1.90)	景観形成 (1.25)	高齢者福祉 (0.98)
	50～59歳 (n=161)	上下水道 (4.90)	歴史・文化財 (2.55)	ごみ処理 (2.43)	景観形成 (1.47)	公園・緑地 (0.83)
	60～69歳 (n=202)	上下水道 (4.44)	ごみ処理 (2.63)	健康づくり (0.96)	保健・医療 (0.42)	景観形成 (0.27)
	70歳以上 (n=386)	上下水道 (5.94)	ごみ処理 (4.55)	保健・医療 (3.36)	健康づくり (3.09)	歴史・文化財 (2.67)

<居住区域別の満足度平均スコア>

居住区域別では、全ての地域で「上下水道」が1位となっている。
また、「ごみ処理」が八幡小学校区を除く全ての地域で2位となった。

		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
居 住 区 域 別	屋代 小学校区 (n=123)	上下水道 (4.61)	ごみ処理 (2.90)	歴史・文化財 (2.14)	景観形成 (1.52)	自然との共生 (1.43)
	東 小学校区 (n=129)	上下水道 (5.54)	ごみ処理 (2.50)	歴史・文化財 (2.23)	公園・緑地 (1.27)	景観形成 (0.71)
	埴生 小学校区 (n=181)	上下水道 (5.16)	ごみ処理 (3.10)	歴史・文化財 (2.17)	景観形成 (1.86)	保健・医療 (1.51)
	治田 小学校区 (n=115)	上下水道 (5.43)	ごみ処理 (3.12)	障がい者福祉 (1.70)	人権・平和 (1.56)	歴史・文化財 (1.10)
	八幡 小学校区 (n=93)	上下水道 (4.70)	歴史・文化財 (3.21)	ごみ処理 (2.88)	景観形成 (2.62)	人権・平和 (2.35)
	戸倉 小学校区 (n=144)	上下水道 (4.85)	ごみ処理 (4.03)	保健・医療 (2.06)	健康づくり (1.98)	歴史・文化財 (1.65)
	更級 小学校区 (n=70)	上下水道 (6.12)	ごみ処理 (3.73)	景観形成 (2.26)	保健・医療 (1.45)	健康づくり (1.43)
	五加 小学校区 (n=125)	上下水道 (5.64)	ごみ処理 (3.67)	公園・緑地 (3.47)	子育て (2.79)	教育 (2.77)
	上山田 小学校区 (n=95)	上下水道 (4.40)	ごみ処理 (2.81)	健康づくり (2.30)	保健・医療 (2.09)	景観形成 (1.97)

② 市政にとっての重要度

<設問について>

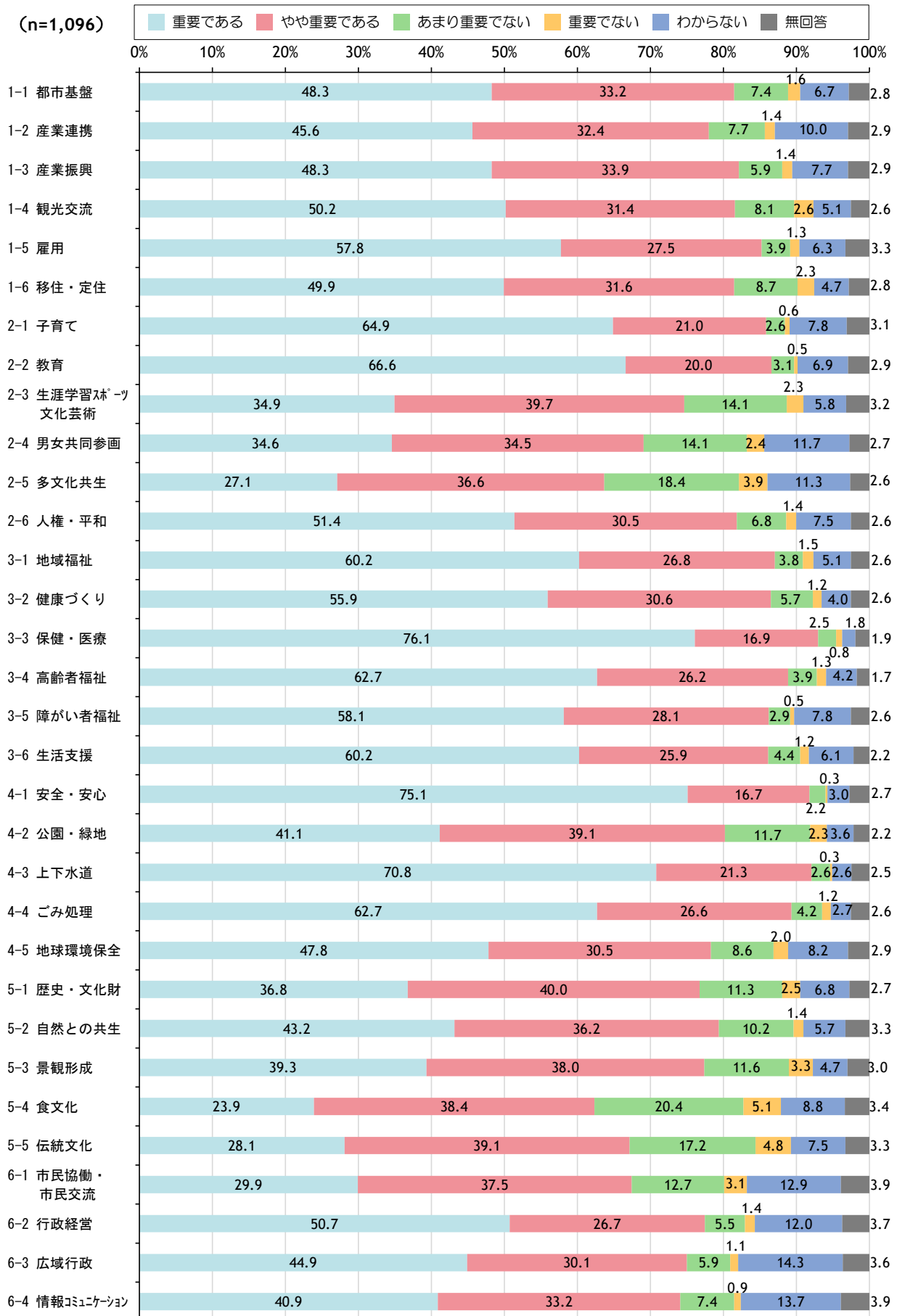
第二次千曲市総合計画に掲げた達成方針 32 項目（巻末資料参照）に対する重要度について、「重要である」「やや重要である」「あまり重要でない」「重要でない」「わからない」の 5 段階のうち、該当する 1 つについて回答を得た。

「重要である」の割合が最も高い項目は、「保健・医療(93.0%)」である。次いで「上下水道(92.1%)」「安心・安全(91.8%)」となっており 9 割を超えている。次いで、「ごみ処理(89.3%)」「高齢者福祉(88.9%)」「地域福祉(87.0%)」「教育(86.6%)」「健康づくり(86.5%)」「障がい者福祉(86.2%)」「生活支援(86.1%)」となった。

一方、重要度が低い項目では、「食文化(25.5%)」が最も低く、次いで「多文化共生(22.3%)」「伝統文化(22.0%)」の順となっている。

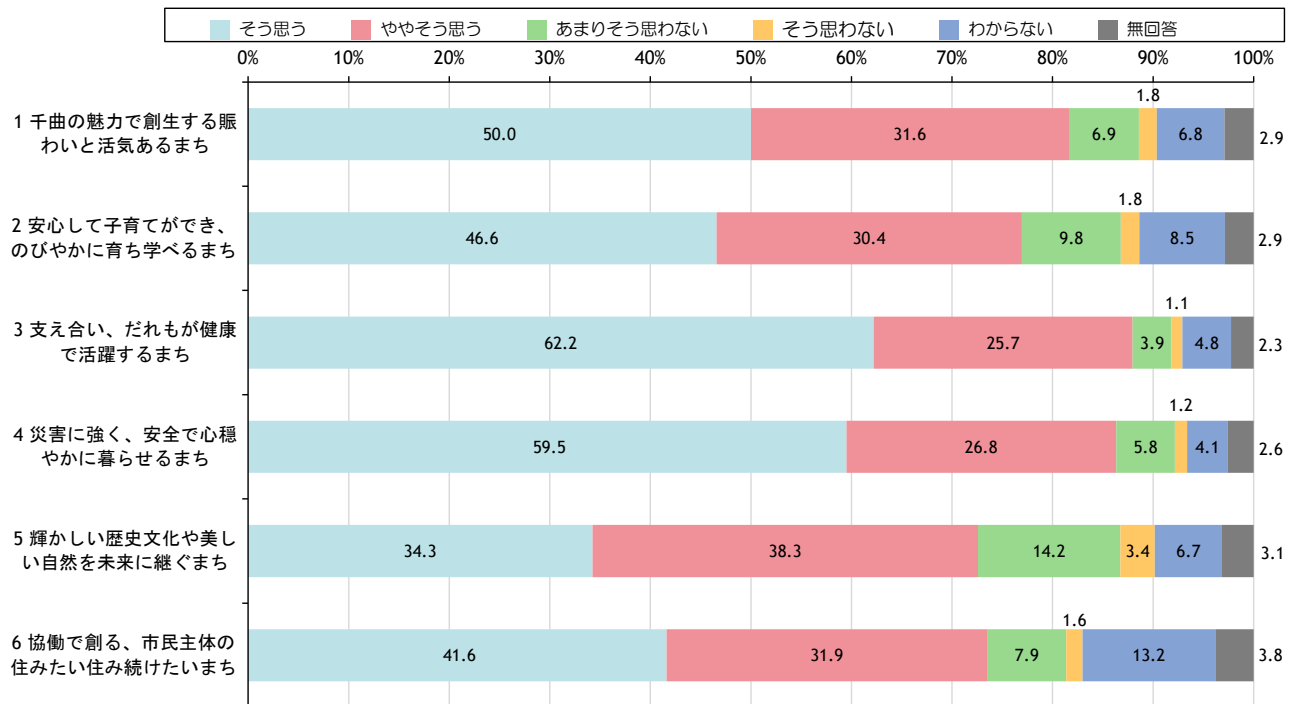
「第二次千曲市総合計画」の目標体系別（巻末資料参照）に見ると、「基本目標③（支え合い、だれもが健康で活躍するまち）」に該当する項目の「重要である」の割合が高く、「地域福祉(60.2%)」「健康づくり(55.9%)」「保健・医療(76.1%)」「高齢者福祉(62.7%)」「障がい者福祉(58.1%)」「生活支援(60.2%)」と全ての項目が 5 割を超えている。

図 3-1-4-1 市政にとっての重要度回答割合



「重要である」の割合が最も高い項目を基本目標ごとにみると、「3 支え合い、だれもが健康で活躍するまち」が 62.2%と最も高くなっている。一方、重要度が低い項目では、「5 輝かしい歴史文化や美しい自然を未来に継ぐまち」が 34.3%と最も低く、次いで「6 協働で創る、市民主体の住みたい住み続けたいまち」が 41.6%という結果になった。

図 3-1-4-2 市政にとっての重要度回答割合(基本目標ごと)



<重要度の平均スコア>

満足度と同様に、市政への重要度についても、32項目ごとに「重要である」に+10点、「やや重要である」に+5点、「あまり重要でない」に-5点、「重要でない」に-10点の点数を与え、平均スコアを求めた。

平均スコアが最も高い項目は、「安全・安心(8.71)」である。次いで「保健・医療(8.57)」「上下水道(8.42)」の順となっている。

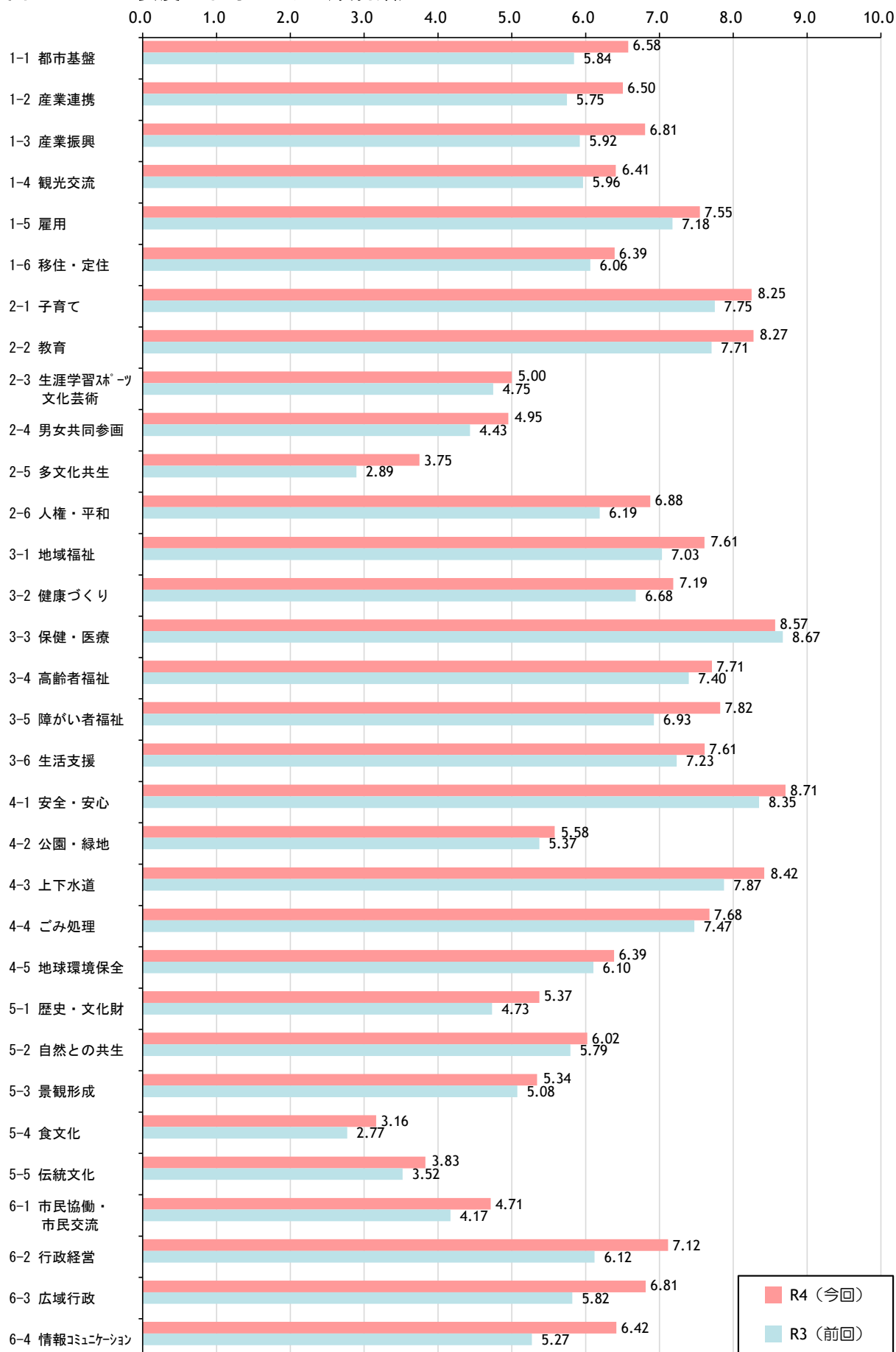
平均スコアが最も低い項目は、「食文化(3.16)」である。次いで「多文化共生(3.75)」「伝統文化(3.83)」「市民協働・市民交流(4.71)」の順となっている。

32項目全体の平均スコアは6.54点であり、前回より0.52点上回った。

表 3-1-5 重要度平均スコア（ランク順）

ランク			項目	ポイント数		
R4 (今回)	順位 変動	R3 (前回)		R4 (今回)	R3 (前回)	差
1	↑	2	4-1 安全・安心	8.71P	8.35P	0.36
2	↓	1	3-3 保健・医療	8.57P	8.67P	△ 0.10
3	→	3	4-3 上下水道	8.42P	7.87P	0.54
4	↑	5	2-2 教育	8.27P	7.71P	0.57
5	↓	4	2-1 子育て	8.25P	7.75P	0.50
6	↑	11	3-5 障がい者福祉	7.82P	6.93P	0.90
7	→	7	3-4 高齢者福祉	7.71P	7.40P	0.31
8	↓	6	4-4 ごみ処理	7.68P	7.47P	0.21
9	↓	8	3-6 生活支援	7.61P	7.23P	0.38
10	→	10	3-1 地域福祉	7.61P	7.03P	0.58
11	↓	9	1-5 雇用	7.55P	7.18P	0.37
12	→	12	3-2 健康づくり	7.19P	6.68P	0.51
13	↑	14	6-2 行政経営	7.12P	6.12P	0.99
14	↓	13	2-6 人権・平和	6.88P	6.19P	0.69
15	↑	20	6-3 広域行政	6.81P	5.82P	0.99
16	↑	18	1-3 産業振興	6.81P	5.92P	0.89
17	↑	19	1-1 都市基盤	6.58P	5.84P	0.73
18	↑	22	1-2 産業連携	6.50P	5.75P	0.76
19	↑	24	6-4 情報コミュニケーション	6.42P	5.27P	1.14
20	↓	17	1-4 観光交流	6.41P	5.96P	0.44
21	↓	16	1-6 移住・定住	6.39P	6.06P	0.33
22	↓	15	4-5 地球環境保全	6.39P	6.10P	0.28
23	↓	21	5-2 自然との共生	6.02P	5.79P	0.23
24	↓	23	4-2 公園・緑地	5.58P	5.37P	0.21
25	↑	27	5-1 歴史・文化財	5.37P	4.73P	0.64
26	↓	25	5-3 景観形成	5.34P	5.08P	0.27
27	↓	26	2-3 生涯学習施設・文化芸術	5.00P	4.75P	0.25
28	→	28	2-4 男女共同参画	4.95P	4.43P	0.52
29	→	29	6-1 市民協働・市民交流	4.71P	4.17P	0.55
30	→	30	5-5 伝統文化	3.83P	3.52P	0.31
31	→	31	2-5 多文化共生	3.75P	2.89P	0.85
32	→	32	5-4 食文化	3.16P	2.77P	0.39
平均				6.54P	6.03P	0.52

図 3-1-6 重要度の平均スコア（項目順）



<性別・年齢別の重要度平均スコア>

性別では、1位と2位が同じ項目(安心・安全、保健・医療)となっており、「上下水道」は男女とも4位以内となった。

年齢別では、「安全・安心」が全ての年齢層で3位以内となっている。そのほかの項目は年齢層ごと項目・順位にばらつきがみられる。

		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	5 位
全 体 (n=1096)		安全・安心 (8.71)	保健・医療 (8.57)	上下水道 (8.42)	教 育 (8.27)	子 育 て (8.25)	
性 別	男 性 (n=505)	安全・安心 (8.42)	保健・医療 (8.34)	子 育 て (8.27)	上下水道 (8.24)	教 育 (8.02)	
	女 性 (n=572)	安全・安心 (8.98)	保健・医療 (8.75)	上下水道 (8.57)	教 育 (8.50)	子 育 て (8.21)	
年 齢 別	18・19歳 (n=23)	教 育 (9.05)	地域福祉 (8.81)	安全・安心 (8.33)	障がい者福祉 (8.16)	観光交流 (8.10)	上下水道 同5位(8.10)
	20～29歳 (n=57)	保健・医療 (8.96)	上下水道 (8.52)	安全・安心 (8.33)	子 育 て (8.02)	教 育 (7.83)	
	30～39歳 (n=109)	安全・安心 (9.03)	上下水道 (8.50)	子 育 て (8.45)	保健・医療 (8.35)	教 育 (8.12)	
	40～49歳 (n=144)	子 育 て (8.94)	保健・医療 (8.58)	安全・安心 (8.50)	教 育 (8.45)	障がい者福祉 (7.99)	
	50～59歳 (n=161)	安全・安心 (8.91)	保健・医療 (8.63)	高齢者福祉 (8.16)	上下水道 同3位(8.16)	子 育 て (8.15)	
	60～69歳 (n=202)	安全・安心 (8.45)	保健・医療 (8.29)	上下水道 (8.28)	教 育 (7.95)	子 育 て (7.87)	
	70歳以上 (n=386)	安全・安心 (8.83)	上下水道 (8.77)	保健・医療 (8.71)	教 育 (8.54)	ごみ処理 (8.46)	

<居住区域別の重要度平均スコア>

居住区域別では、すべての地域で「安心・安全」が3位以内となっている。また、全ての地域で「上下水道」「保健医療」が5位以内となっている。そのほか複数の地域で「教育」「子育て」が5位以内となった。

		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
居住区域別	屋代 小学校区 (n=123)	上下水道 (8.90)	安全・安心 (8.81)	保健・医療 (8.57)	教育 (8.39)	障がい者福祉 (8.19)
	東 小学校区 (n=129)	保健・医療 (8.17)	上下水道 (8.11)	安全・安心 (8.08)	子育て (7.74)	障がい者福祉 (7.63)
	埴生 小学校区 (n=181)	安全・安心 (8.97)	子育て (8.85)	教育 (8.56)	保健・医療 (8.54)	上下水道 (8.50)
	治田 小学校区 (n=115)	安全・安心 (9.13)	保健・医療 (8.83)	教育 (8.53)	上下水道 (8.47)	子育て (8.46)
	八幡 小学校区 (n=93)	保健・医療 (9.33)	安全・安心 (8.52)	上下水道 (8.49)	教育 (8.41)	子育て (8.40)
	戸倉 小学校区 (n=144)	安全・安心 (8.72)	保健・医療 (8.61)	教育 (8.49)	上下水道 (8.33)	子育て (8.24)
	更級 小学校区 (n=70)	保健・医療 (8.77)	上下水道 (8.62)	安全・安心 (8.51)	雇用 (8.13)	子育て 同4位(8.13)
	五加 小学校区 (n=125)	安全・安心 (9.21)	子育て (8.46)	上下水道 (8.36)	教育 (8.25)	保健・医療 (8.18)
	上山田 小学校区 (n=95)	保健・医療 (8.26)	安全・安心 (8.13)	教育 (8.08)	上下水道 (7.98)	ごみ処理 (7.97)

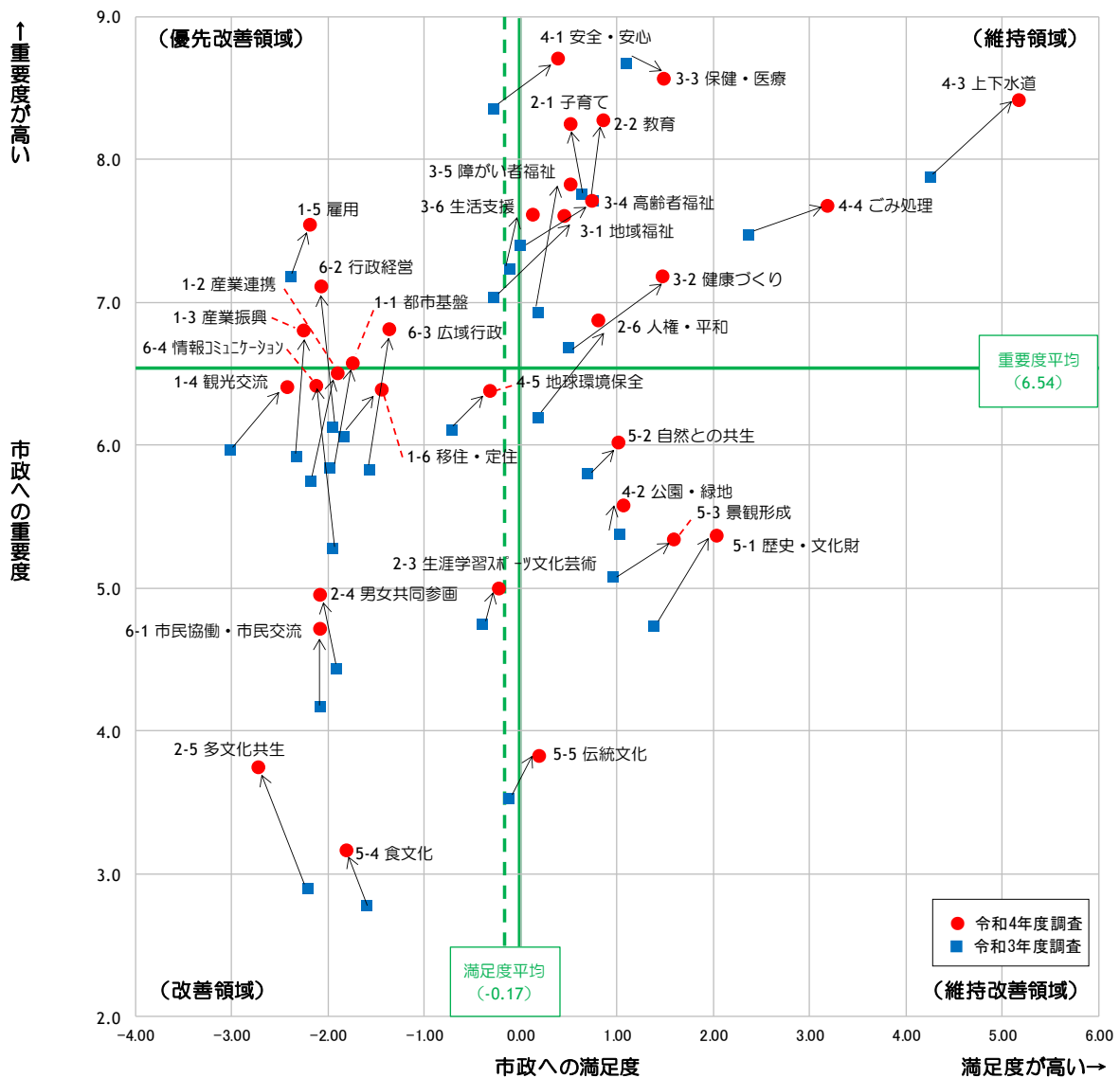
③ 満足度と重要度の相関

32 項目について、市政への満足度平均スコアと、市政にとっての重要度平均スコアの相関を示した。

この図では、より左上にある項目ほど「満足度が低く、かつ重要度が高い」ことになり、今後の市政の重点課題になるものと考えられる。

令和 3 年度に比べ満足度が低く、重要度が高くなった項目は「男女共同参画」「多文化共生」「食文化」「行政経営」「情報コミュニケーション」があげられる。

図 3-1-7 市政への満足度と重要度の相関図(令和 3 年度との比較)



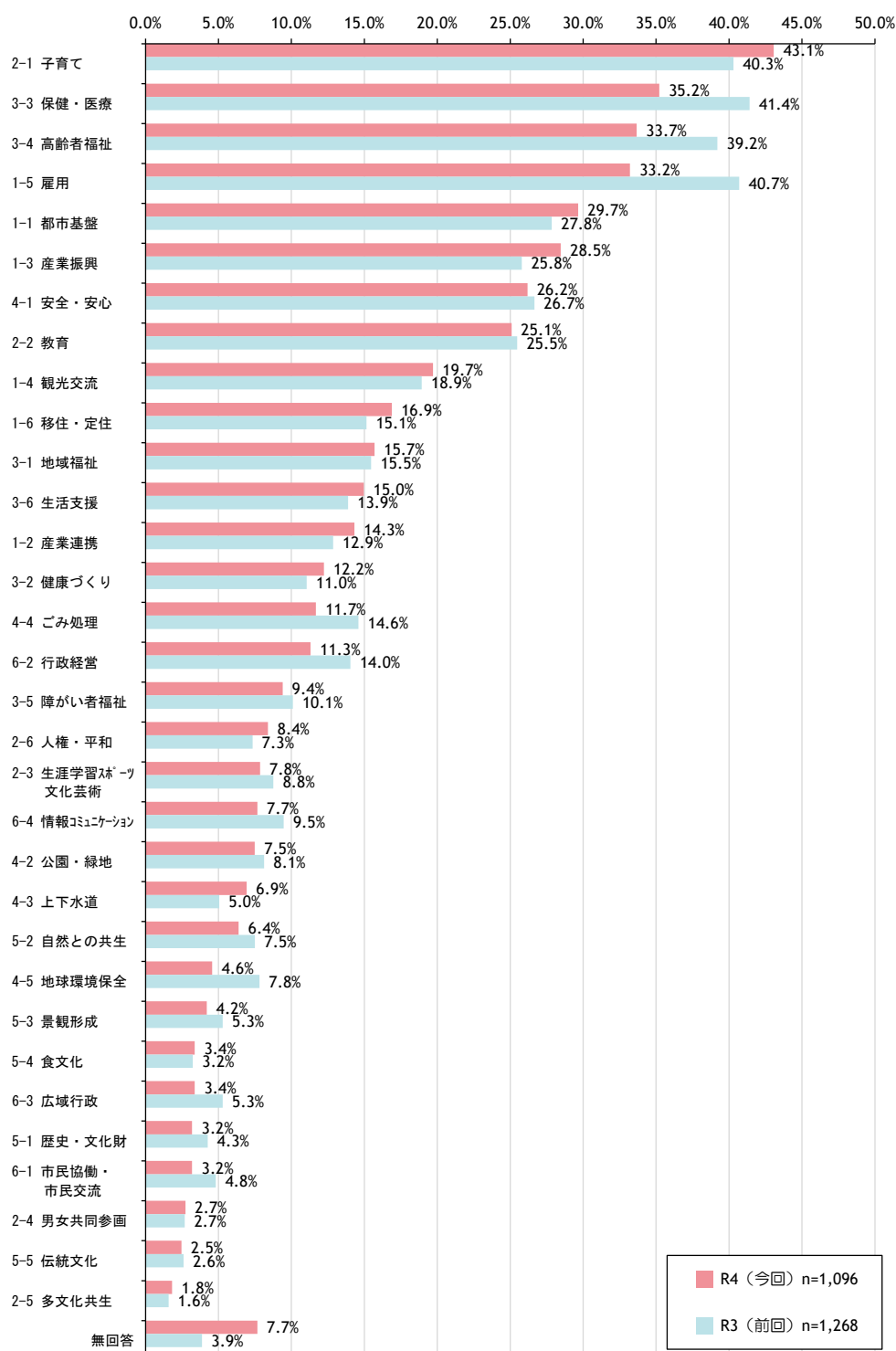
(2) 市政への要望

<設問について>

第二次千曲市総合計画に掲げた達成方針 32 項目（巻末資料参照）について、特に重要だと考える施策を 5 項目選び、回答を得た。

「子育て（43.1%）」が 4 割以上と最も高くなっており、「保健・医療（35.2%）」 「高齢者福祉（33.7%）」 「雇用（33.2%）」が 3 割以上となっている。

図 3-2 市政への要望回答割合



<性別・年齢別の市政への要望>

性別では、2位を除き同じ項目、同じ順位(子育て、保健・医療、雇用、都市基盤)となった。

年齢別では、「保健・医療」「子育て」が全ての年齢層で5位以内となっている。また、20～29歳、70歳以上を除き「雇用」の順位が2位または3位となった。

		1位	2位	3位	4位	5位	5位
全体 (n=1096)		子育て (43.1%)	保健・医療 (35.2%)	高齢者福祉 (33.7%)	雇用 (33.2%)	都市基盤 (29.7%)	
性別	男性 (n=505)	子育て (43.0%)	産業振興 (35.2%)	保健・医療 (34.5%)	雇用 (33.7%)	都市基盤 (33.5%)	
	女性 (n=572)	子育て (44.1%)	高齢者福祉 (38.1%)	保健・医療 (36.7%)	雇用 (33.0%)	都市基盤 (26.6%)	
年齢別	18・19歳 (n=23)	子育て (52.2%)	雇用 (39.1%)	高齢者福祉 同2位(39.1%)	移住・定住 (30.4%)	産業振興 (26.1%)	保健・医療 同5位(26.1%)
	20～29歳 (n=57)	子育て (45.6%)	都市基盤 (40.4%)	保健・医療 (36.8%)	安全・安心 (33.3%)	高齢者福祉 (28.1%)	
	30～39歳 (n=109)	子育て (66.1%)	雇用 (37.6%)	保健・医療 (34.9%)	教育 (33.0%)	都市基盤 (29.4%)	
	40～49歳 (n=144)	子育て (62.5%)	教育 (37.5%)	雇用 (36.8%)	保健・医療 (33.3%)	都市基盤 (29.9%)	
	50～59歳 (n=161)	子育て (49.7%)	保健・医療 (38.5%)	雇用 (36.0%)	都市基盤 (32.9%)	高齢者福祉 (32.3%)	
	60～69歳 (n=202)	高齢者福祉 (41.6%)	雇用 (37.6%)	子育て 同2位(37.6%)	保健・医療 (36.1%)	安全・安心 (30.2%)	
	70歳以上 (n=386)	高齢者福祉 (38.3%)	保健・医療 (35.5%)	産業振興 (33.2%)	都市基盤 (29.8%)	子育て (29.0%)	

<居住区域別の市政への要望>

居住区域別では、全ての地域で「子育て」「保健・医療」が5位以内となっている。また、屋代小学校区を除く地域で「高齢者福祉」が5位以内となった。

		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
居 住 区 域 別	屋代 小学校区 (n=123)	子育て (43.9%)	産業振興 (39.8%)	雇用 (37.4%)	保健・医療 (35.0%)	教育 (31.7%)
	東 小学校区 (n=129)	子育て (45.7%)	雇用 (38.8%)	保健・医療 (37.2%)	高齢者福祉 (31.8%)	産業振興 (31.0%)
	埴生 小学校区 (n=181)	子育て (48.1%)	保健・医療 (37.0%)	都市基盤 (34.8%)	雇用 (32.0%)	高齢者福祉 同4位(32.0%)
	治田 小学校区 (n=115)	子育て (41.7%)	雇用 (38.3%)	高齢者福祉 (37.4%)	都市基盤 (34.8%)	保健・医療 (31.3%)
	八幡 小学校区 (n=93)	保健・医療 (41.9%)	高齢者福祉 (40.9%)	子育て (38.7%)	産業振興 (31.2%)	都市基盤 (29.0%)
	戸倉 小学校区 (n=144)	子育て (43.8%)	保健・医療 (35.4%)	高齢者福祉 同2位(35.4%)	観光交流 (30.6%)	雇用 (29.2%)
	更級 小学校区 (n=70)	雇用 (45.7%)	子育て (41.4%)	保健・医療 (35.7%)	高齢者福祉 同3位(35.7%)	安全・安心 (34.3%)
	五加 小学校区 (n=125)	子育て (46.4%)	安全・安心 (34.4%)	雇用 (33.6%)	保健・医療 (29.6%)	高齢者福祉 同4位(29.6%)
	上山田 小学校区 (n=95)	保健・医療 (37.9%)	子育て (36.8%)	高齢者福祉 同2位(36.8%)	産業振興 (33.7%)	都市基盤 (31.6%)

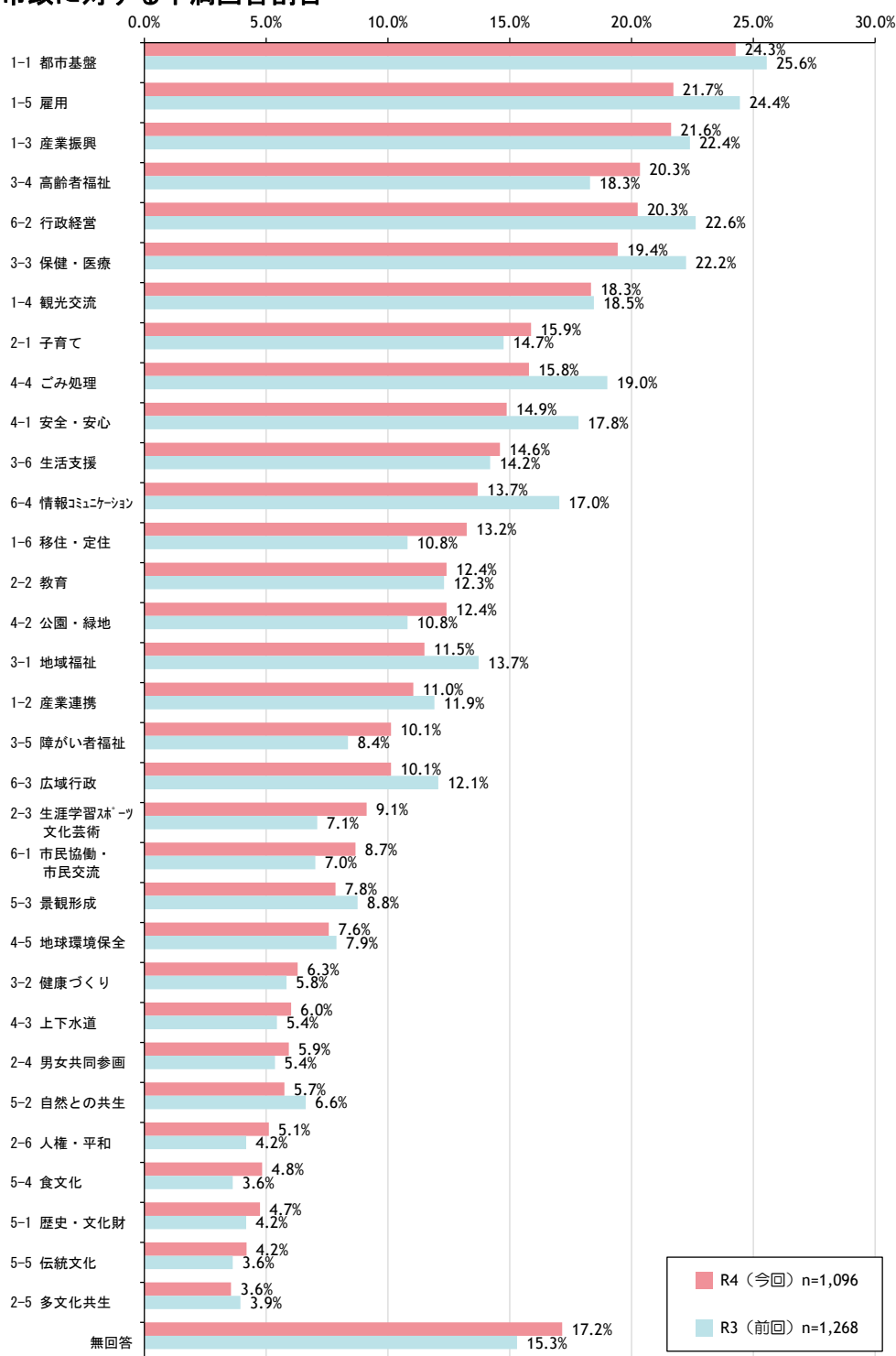
(3) 市政に対する不満

<設問について>

第二次千曲市総合計画に掲げた達成方針 32 項目（巻末資料参照）について、特に不満を感じる施策を 5 項目選び、回答を得た。

「都市基盤(24.3%)」が最も多く、次いで「雇用(21.7%)」「産業振興(21.6%)」「高齢者福祉(20.3%)」「行政経営(20.3%)」の順となっている。

図 3-3 市政に対する不満回答割合



<性別・年齢別の市政に対する不満>

性別では、1位は男性が「都市基盤」、女性が「雇用」となっており、2位は男性が「産業振興」、女性が「保健・医療」と項目が別々の結果となっている。

年齢別では、すべての年齢層で「都市基盤」が3位以内となっており、「雇用」も70歳以上を除き5位以内となっている。

		1位	2位	3位	4位	5位	5位
全体 (n=1096)		都市基盤 (24.3%)	雇用 (21.7%)	産業振興 (21.6%)	高齢者福祉 (20.3%)	行政経営 同4位(20.3%)	
性別	男性 (n=505)	都市基盤 (28.3%)	産業振興 (25.3%)	行政経営 (23.6%)	雇用 (21.4%)	観光交流 (19.8%)	
	女性 (n=572)	雇用 (22.4%)	保健・医療 同1位(22.4%)	高齢者福祉 (21.3%)	都市基盤 (20.8%)	産業振興 (18.9%)	
年齢別	18・19歳 (n=23)	都市基盤 (30.4%)	教育 同1位(30.4%)	保健・医療 (26.1%)	情報コミュニケーション 同3位(26.1%)	雇用 (21.7%)	子育て 同5位(21.7%)
	20～29歳 (n=57)	都市基盤 (33.3%)	観光交流 (28.1%)	雇用 (24.6%)	情報コミュニケーション (22.8%)	産業振興 (19.3%)	教育 同5位(19.3%)
	30～39歳 (n=109)	子育て (27.5%)	都市基盤 (26.6%)	雇用 (25.7%)	産業振興 (22.9%)	行政経営 (22.0%)	
	40～49歳 (n=144)	行政経営 (28.5%)	雇用 (26.4%)	都市基盤 (24.3%)	産業振興 同3位(24.3%)	子育て 同3位(24.3%)	
	50～59歳 (n=161)	都市基盤 (32.3%)	雇用 (26.7%)	産業振興 (24.2%)	保健・医療 (23.0%)	観光交流 (21.1%)	行政経営 同5位(21.1%)
	60～69歳 (n=202)	雇用 (24.8%)	高齢者福祉 同1位(24.8%)	都市基盤 (22.3%)	保健・医療 同3位(22.3%)	産業振興 (20.8%)	
	70歳以上 (n=386)	高齢者福祉 (27.2%)	産業振興 (20.7%)	都市基盤 (19.9%)	行政経営 (17.9%)	保健・医療 (15.8%)	

<居住区域別の市政に対する不満>

居住区域別では、更級小学校区を除き「都市基盤」が5位以内となっている。また、「雇用」は八幡小学校区を除き5位以内、「産業振興」は五加・上山田小学校区を除く地区で5位以内となった。そのほか項目・順位ともばらつきが多い結果となった。

		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	5 位
居住区域別	屋代小学校区 (n=123)	産業振興 (27.6%)	都市基盤 (26.0%)	雇用 同2位(26.0%)	高齢者福祉 (19.5%)	安全・安心 (18.7%)	
	東小学校区 (n=129)	都市基盤 (27.9%)	雇用 同1位(27.9%)	産業振興 (26.4%)	高齢者福祉 同3位(26.4%)	保健・医療 (22.5%)	
	埴生小学校区 (n=181)	都市基盤 (25.4%)	産業振興 (22.7%)	雇用 (21.5%)	高齢者福祉 (18.8%)	子育て (18.2%)	行政経営 同5位(18.2%)
	治田小学校区 (n=115)	行政経営 (27.0%)	産業振興 (26.1%)	雇用 (24.3%)	保健・医療 (22.6%)	都市基盤 (21.7%)	
	八幡小学校区 (n=93)	保健・医療 (28.0%)	都市基盤 (25.8%)	産業振興 (22.6%)	観光交流 (21.5%)	高齢者福祉 (20.4%)	
	戸倉小学校区 (n=144)	都市基盤 (24.3%)	観光交流 同1位(24.3%)	行政経営 (20.8%)	産業振興 (19.4%)	雇用 (18.8%)	
	更級小学校区 (n=70)	産業振興 (22.9%)	行政経営 同1位(22.9%)	観光交流 (21.4%)	雇用 同3位(21.4%)	高齢者福祉 同3位(21.4%)	
	五加小学校区 (n=125)	都市基盤 (24.8%)	保健・医療 (23.2%)	観光交流 (20.8%)	雇用 (20.0%)	高齢者福祉 同4位(20.0%)	
	上山田小学校区 (n=95)	都市基盤 (24.2%)	行政経営 同1位(24.2%)	観光交流 (22.1%)	高齢者福祉 (21.1%)	雇用 (20.0%)	

(4) 日本遺産『月の都 千曲』について

<設問について>

千曲市は「月の都 千曲」として、令和2年6月に文化庁から日本遺産に認定されたが、認定されたことを知っているかについて「知っている」「聞いたことはある」「知らない」の3段階のうち、該当する1つについて回答を得た。

「月の都 千曲」について、「知っている(38.5%)」が最も多く、次いで「聞いたことはある(23.9%)」「知らない(18.1%)」となった。

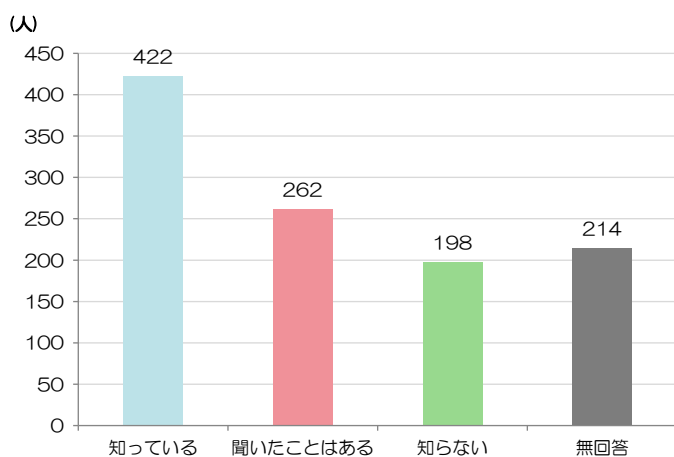


図 4-1-1 回答者数

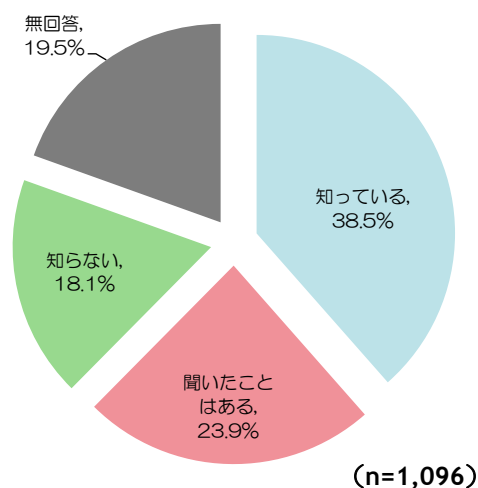


図 4-1-2 回答者割合

【性別による「月の都 千曲」の認知度について】

得られた回答で見ると、男女とも「知っている」が最も多くなった。また、女性の方が「知っている」「聞いたことはある」と回答した割合が高く、認知度にやや差が出る結果となった。

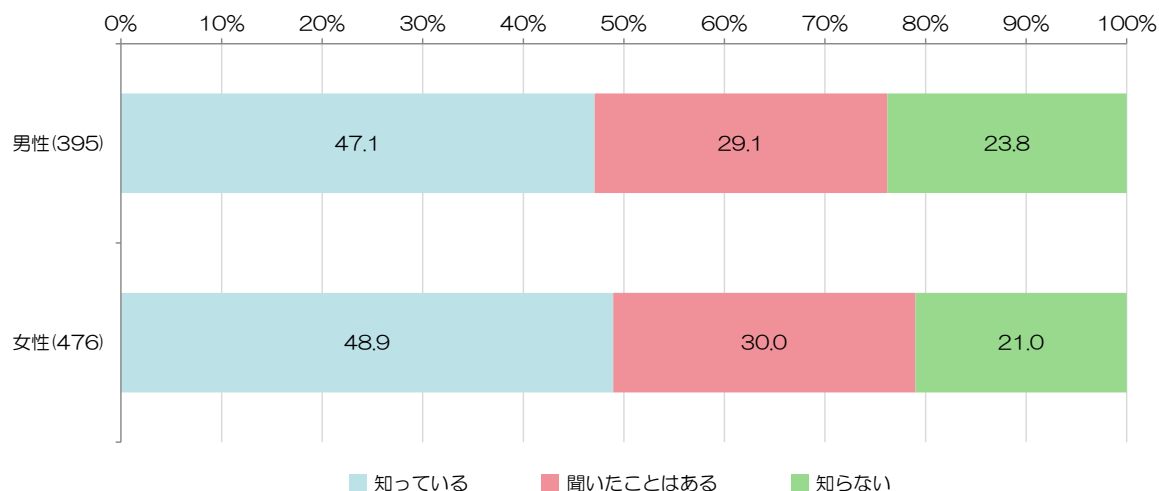


図 4-1-3 性別回答者割合(無回答者を除く)

【年齢別による「月の都 千曲」の認知度について】

得られた回答で見ると、全ての年齢層で「知っている」と「聞いたことはある」を合わせた割合が5割以上となった。

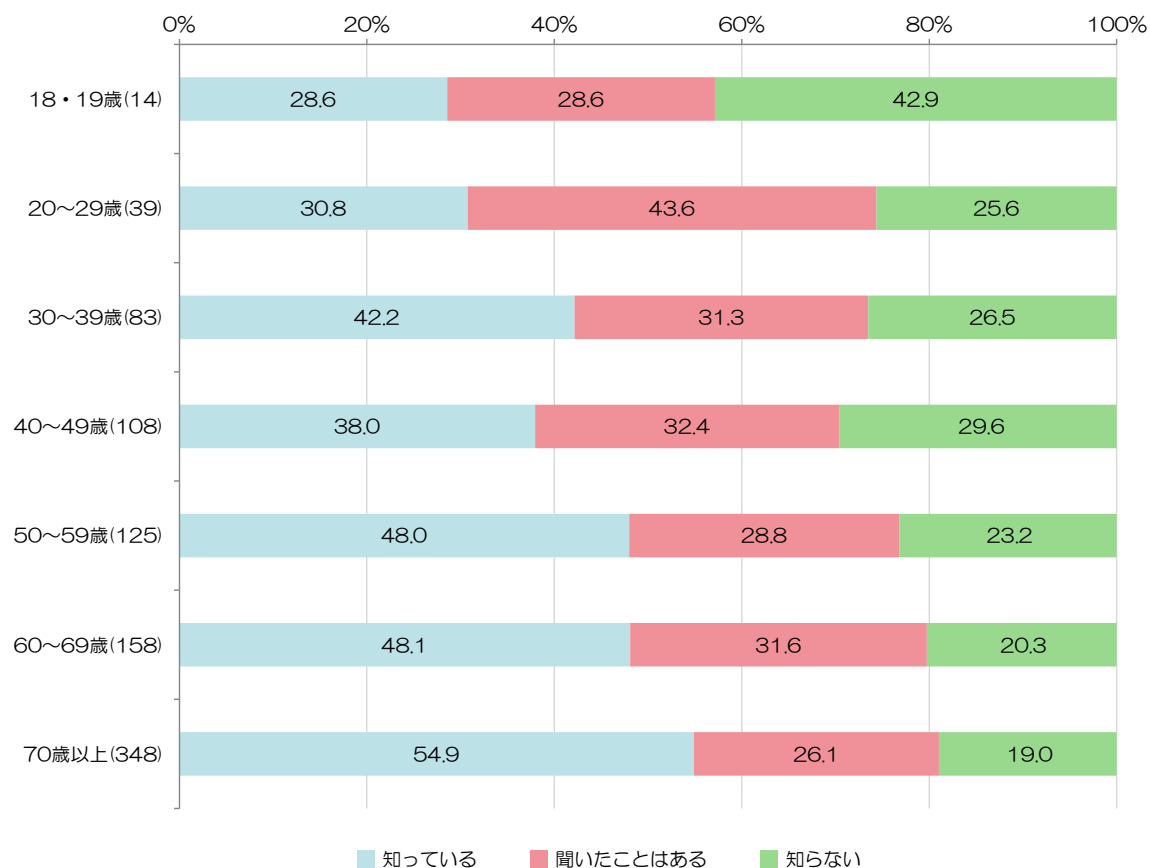
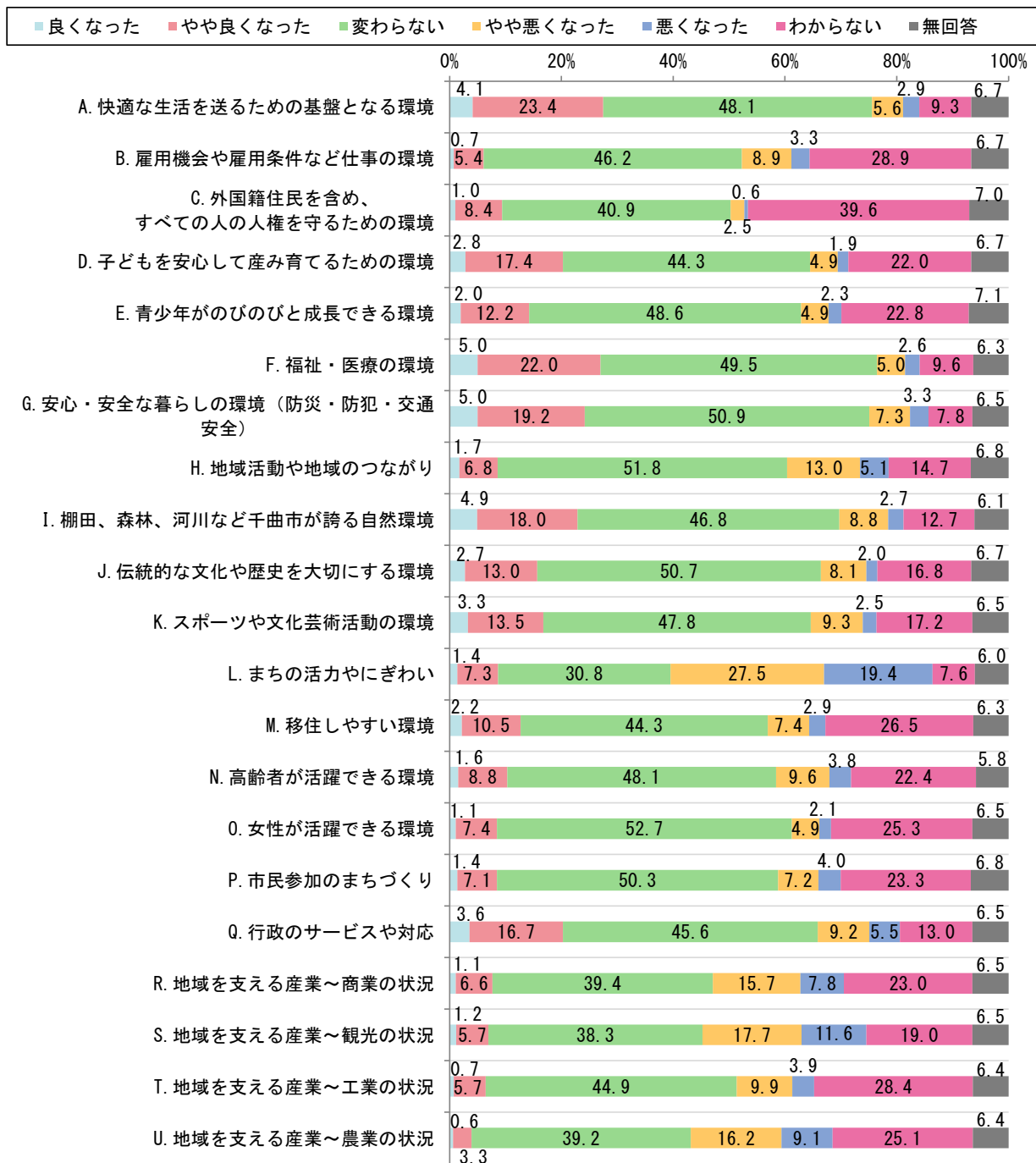


図 4-1-4 年齢別回答者割合(無回答者を除く)

(5) 千曲市の変化について

<設問について>

千曲市の暮らしの環境やまちの状況、産業などの状況に関する 21 項目について、「良くなった」「やや良くなった」「変わらない」「やや悪くなった」「悪くなった」「わからない」の 6 段階のうち、該当する 1 つについて回答を得た。



<5年での変化に関する平均スコア一覧表>

※枠内 左：順位、右：点数の順に記載

総合順位	項目	点数	男	女	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
1	F.福祉・医療の環境	1.29	① 1.31	③ 1.23	② 3.08	③ 2.04	⑤ 0.92	⑤ 0.50	⑤ 0.56	① 0.79	① 2.10
2	A.快適な生活を送るための基盤となる環境	1.20	② 1.10	① 1.33	④ 2.19	① 2.92	② 1.50	① 1.35	① 0.94	② 0.60	④ 1.24
3	D.子どもを安心して産み育てるための環境	1.00	④ 0.68	② 1.30	① 3.67	⑧ 1.19	③ 1.08	④ 0.53	③ 0.62	③ 0.56	③ 1.49
4	G.安心・安全な暮らしの環境（防災・防犯・交通安全）	0.89	③ 0.77	⑤ 0.99	③ 2.63	② 2.06	⑦ 0.59	② 0.87	④ 0.57	⑫ -0.49	② 1.62
5	I.棚田、森林、河川など千曲市が誇る自然環境	0.84	⑤ 0.62	④ 1.06	⑫ 0.79	④ 2.00	⑨ 0.47	③ 0.64	② 0.67	④ 0.42	⑤ 1.16
6	C.外国籍住民を含め、すべての人の人権を守るための環境	0.62	⑥ 0.60	⑧ 0.64	⑤ 2.08	⑤ 1.55	⑧ 0.55	⑨ 0.31	⑦ 0.21	⑤ 0.38	⑦ 0.92
7	E.青少年がのびのびと成長できる環境	0.48	⑧ 0.24	⑥ 0.72	⑧ 1.39	⑮ 0.11	④ 1.01	⑩ 0.05	⑧ -0.08	⑦ 0.14	⑥ 1.00
8	J.伝統的な文化や歴史を大切にす環境	0.41	⑨ 0.17	⑦ 0.68	⑨ 1.39	⑨ 1.16	⑫ 0.06	⑦ 0.35	⑥ 0.38	⑧ 0.00	⑨ 0.62
9	K.スポーツや文化芸術活動の環境	0.38	⑦ 0.50	⑪ 0.24	⑪ 1.18	⑥ 1.46	⑩ 0.20	⑥ 0.42	⑩ -0.12	⑥ 0.22	⑩ 0.54
10	Q.行政のサービスや対応	0.23	⑪ 0.13	⑨ 0.36	⑮ 0.83	⑩ 0.76	⑬ -0.12	⑧ 0.33	⑬ -0.38	⑪ -0.45	⑧ 0.85
11	M.移住しやすい環境	0.12	⑫ -0.09	⑩ 0.35	⑦ 1.76	⑦ 1.33	① 1.64	⑪ -0.04	⑨ -0.08	⑩ -0.44	⑬ -0.24
12	O.女性が活躍できる環境	0.03	⑩ 0.14	⑫ -0.06	⑥ 1.88	⑫ 0.70	⑪ 0.07	⑬ -0.15	⑪ -0.13	⑩ -0.43	⑩ 0.20
13	N.高齢者が活躍できる環境	-0.37	⑬ -0.26	⑭ -0.48	⑭ 0.94	⑪ 0.71	⑥ 0.81	⑫ -0.05	⑭ -0.70	⑮ -1.03	⑮ -0.49
14	P.市民参加のまちづくり	-0.38	⑭ -0.37	⑬ -0.42	⑬ 1.00	⑬ 0.24	⑯ -0.77	⑮ -0.44	⑫ -0.24	⑬ -0.89	⑫ -0.19
15	B.雇用機会や雇用条件など仕事の環境	-0.67	⑮ -0.52	⑯ -0.82	⑫ 1.11	⑯ -0.13	⑯ -1.13	⑯ -0.48	⑮ -0.91	⑭ -1.01	⑭ -0.35
16	T.地域を支える産業～工業の状況	-0.81	⑯ -0.69	⑯ -0.98	⑩ 1.25	⑭ 0.12	⑮ -0.60	⑭ -0.19	⑯ -1.60	⑯ -1.07	⑯ -0.83
17	H.地域活動や地域のつながり	-0.82	⑯ -0.85	⑮ -0.79	⑯ -0.56	⑯ 0.11	⑭ -0.44	⑯ -0.77	⑯ -1.12	⑯ -1.36	⑯ -0.67
18	R.地域を支える産業～商業の状況	-1.59	⑯ -1.68	⑯ -1.49	⑯ 0.83	⑯ -1.22	⑯ -1.30	⑯ -1.25	⑯ -2.02	⑯ -1.78	⑯ -1.65
19	U.地域を支える産業～農業の状況	-2.18	⑯ -2.32	⑯ -2.04	⑯ 0.36	⑯ -0.81	⑯ -1.20	⑯ -1.35	⑯ -2.86	⑯ -2.76	⑯ -2.53
20	S.地域を支える産業～観光の状況	-2.20	⑯ -2.18	⑯ -2.18	⑯ -0.33	⑯ -0.85	⑯ -1.42	⑯ -1.91	⑯ -2.93	⑯ -2.25	⑯ -2.44
21	L.まちの活力やにぎわい	-3.26	⑯ -3.54	⑯ -2.94	⑯ 0.79	⑯ -1.30	⑯ -2.39	⑯ -2.72	⑯ -3.33	⑯ -4.40	⑯ -3.54

項目	厩代小学校区	東小学校区	埴生小学校区	治田小学校区	八幡小学校区	戸倉小学校区	更級小学校区	五加小学校区	上山田小学校区
F	② 1.30	① 0.63	④ 0.90	② 1.24	① 1.96	① 1.17	① 1.42	④ 1.73	① 1.42
A	① 1.45	⑨ -0.22	① 1.66	① 1.45	④ 1.27	② 0.85	④ 0.49	① 2.84	⑥ 0.74
D	③ 1.28	③ 0.36	③ 0.94	⑤ 1.13	⑤ 1.23	④ 0.74	⑦ 0.33	③ 1.81	② 1.33
G	⑥ 1.06	② 0.39	⑧ 0.53	④ 1.19	③ 1.54	⑦ 0.41	② 0.90	⑤ 1.36	③ 1.03
I	⑤ 1.17	⑥ -0.05	⑥ 0.73	⑥ 0.55	② 1.84	③ 0.76	③ 0.67	⑥ 1.30	⑦ 0.63
C	⑩ 0.69	④ 0.31	⑤ 0.88	③ 1.19	⑧ 0.48	⑧ 0.25	⑤ 0.49	⑪ 0.70	⑤ 0.75
E	⑧ 0.90	⑧ -0.10	⑨ 0.41	⑧ 0.32	⑩ 0.36	⑨ 0.19	⑥ 0.36	⑧ 0.96	④ 0.98
J	⑨ 0.76	⑦ -0.05	⑪ 0.34	⑫ 0.05	⑥ 0.88	⑤ 0.49	⑨ 0.17	⑨ 0.86	⑧ 0.07
K	④ 1.24	⑤ 0.10	⑩ 0.41	⑭ -0.16	⑦ 0.63	⑥ 0.48	⑧ 0.28	⑬ 0.43	⑩ -0.26
Q	⑦ 0.99	⑩ -0.23	⑦ 0.71	⑨ 0.27	⑭ -0.26	⑩ -0.09	⑪ -0.42	⑦ 1.00	⑫ -0.63
M	⑪ 0.66	⑯ -0.67	② 1.01	⑬ -0.06	⑪ 0.23	⑬ -0.66	⑮ -1.28	② 1.82	⑬ -0.64
O	⑭ -0.17	⑪ -0.33	⑬ -0.22	⑩ 0.12	⑨ 0.40	⑪ -0.24	⑩ 0.10	⑩ 0.83	⑨ 0.00
N	⑫ 0.06	⑮ -0.66	⑭ -0.30	⑪ 0.06	⑫ -0.21	⑮ -0.96	⑭ -1.04	⑫ 0.51	⑮ -0.88
P	⑮ -0.18	⑫ -0.44	⑯ -0.69	⑦ 0.34	⑯ -0.42	⑭ -0.76	⑬ -1.02	⑭ 0.06	⑪ -0.61
B	⑯ -0.39	⑯ -1.09	⑮ -0.42	⑯ -0.74	⑬ -0.25	⑫ -0.58	⑯ -1.85	⑮ 0.00	⑭ -0.86
T	⑯ -1.11	⑬ -0.48	⑫ -0.18	⑮ -0.37	⑯ -0.60	⑯ -1.21	⑯ -2.66	⑯ -0.49	⑯ -1.45
H	⑬ -0.10	⑭ -0.55	⑯ -1.19	⑯ -0.92	⑯ -0.34	⑯ -1.16	⑯ -0.85	⑯ -0.65	⑯ -1.53
R	⑯ -1.52	⑯ -1.36	⑯ -1.20	⑯ -1.49	⑯ -1.97	⑯ -1.40	⑯ -2.60	⑯ -0.99	⑯ -2.87
U	⑯ -1.81	⑯ -2.72	⑯ -1.15	⑯ -1.34	⑯ -2.13	⑯ -2.14	⑯ -3.92	⑯ -2.19	⑯ -3.33
S	⑯ -2.09	⑯ -1.76	⑯ -1.76	⑯ -1.57	⑯ -1.38	⑯ -2.93	⑯ -3.36	⑯ -2.07	⑯ -3.50
L	⑯ -3.60	⑯ -3.04	⑯ -2.60	⑯ -3.32	⑯ -3.38	⑯ -3.49	⑯ -3.77	⑯ -2.22	⑯ -4.65

市政への満足度や重要度と同様に21項目ごとに「良くなった」に+10点、「やや良くなった」に+5点、「やや悪くなった」に-5点、「悪くなった」に-10点の点数を与え、平均スコアを求めた。

5年で良くなったと感じる項目について、「F.福祉・医療の環境」が1.3点、「A.快適な生活を送るための基盤となる環境」が1.2点、「D.子どもを安心して産み育てるための環境」が1.0点となっている。また、5年で悪くなったと感じる項目については「L.まちの活力やにぎわい」が-3.3点、次いで「S.地域を支える産業～観光の状況」が-2.2点、「U.地域を支える産業～農業の状況」が-2.2点となった。

また、男女別・年代別・居住区域別にみると、全体で11位の「M.移住しやすい環境」が「30～39歳」区分では1位になるなど、区分独自の傾向も見られた。

4. 千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略—平成28年度との比較—

(1) 具体的施策の比較

① 満足度と重要度の平均スコア一覧

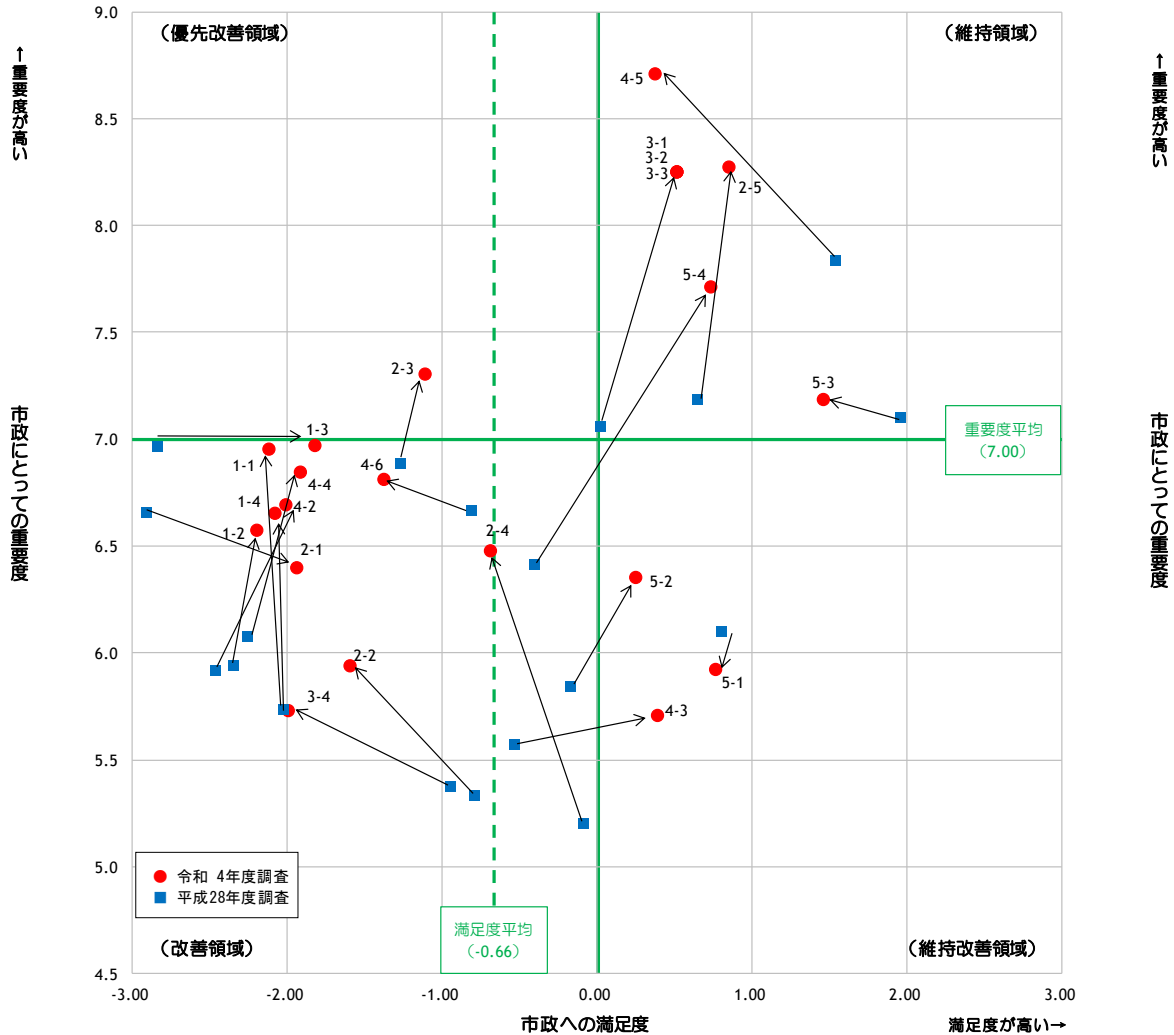
平成28年度と令和4年度のスコア平均を集計し、具体的施策ごとに一覧表を作成した。平均をみると満足度が0.10点上がり、重要度も0.65点上がる結果となった。「5-4 介護予防の実施」は満足度・重要度ともに最も大きく上がっている。「1-3 若い世代の経済的安定」「2-1 千曲市の魅力を発信するシティプロモーションの推進」は満足度が大きく上がっている。「2-4 地方大学等の活用」「1-1 企業・産業人材の誘致、採用・就労の拡大による雇用の創出」は重要度が大きく上がっている。

具体的施策	満足度		重要度		比較	
	H28	R4	H28	R4	満足度	重要度
1-1 企業・産業人材の誘致、採用・就労の拡大による雇用の創出	-2.02	-2.12	5.73	6.95	-0.10	1.22
1-2 地域産業の競争力強化による雇用の創出	-2.34	-2.20	5.94	6.57	0.14	0.63
1-3 若い世代の経済的安定	-2.83	-1.82	6.96	6.97	1.01	0.01
1-4 経済の地域内循環の促進	-2.02	-2.08	5.73	6.66	-0.06	0.93
2-1 千曲市の魅力を発信するシティプロモーションの推進	-2.90	-1.94	6.65	6.40	0.96	-0.25
2-2 地域資源を生かした交流の拡大	-0.79	-1.60	5.33	5.94	-0.81	0.61
2-3 移住・定住の推進	-1.26	-1.11	6.88	7.30	0.15	0.42
2-4 地方大学等の活用	-0.08	-0.69	5.20	6.48	-0.61	1.28
2-5 魅力的で誇りを持てる教育の提供	0.65	0.85	7.18	8.27	0.20	1.09
3-1 結婚から妊娠・出産・育児に渡る切れ目ない支援	0.03	0.52	7.06	8.25	0.49	1.19
3-2 子育て家庭の経済的負担の軽減	0.03	0.52	7.06	8.25	0.49	1.19
3-3 協働による子育てコミュニティサイトの構築	0.03	0.52	7.06	8.25	0.49	1.19
3-4 仕事と生活の調和の実現	-0.94	-1.99	5.37	5.73	-1.05	0.36
4-2 都市の再構築によるエリア再生	-2.46	-2.01	5.92	6.69	0.45	0.77
4-3 歴史・文化資源を生かした交流拠点の形成	-0.53	0.39	5.57	5.71	0.92	0.14
4-4 公共施設及びインフラの更新・統廃合・長寿命化の推進	-2.25	-1.91	6.07	6.85	0.34	0.78
4-5 地域防災の充実強化	1.55	0.38	7.83	8.71	-1.17	0.88
4-6 広域連携による施策の推進	-0.81	-1.37	6.66	6.81	-0.56	0.15
5-1 中高年が楽しみながら健康になれるスポーツのまちづくり	0.81	0.77	6.10	5.92	-0.04	-0.18
5-2 生きがいづくりと社会参加	-0.16	0.25	5.84	6.36	0.41	0.52
5-3 健診受診促進と健康づくりの推進	1.96	1.47	7.10	7.19	-0.49	0.09
5-4 介護予防の実施	-0.40	0.73	6.41	7.71	1.13	1.30
平均	-0.76	-0.66	6.35	7.00	0.10	0.65

※満足度・重要度を四捨五入して計算

② 満足度と重要度の平均スコア推移

「2-5 魅力的で誇りを持てる教育の提供」「5-4 介護予防の実施」など12項目に満足度・重要度の増加がみられた。また重要度が上がり、満足度は下がった項目として「1-1 企業・産業人材の誘致、採用・就労の拡大による雇用の創出」「2-4 地方大学等の活用」「4-5 地域防災の充実強化」など8項目があげられる。



グラフ内の項目について

- 1-1： 企業・産業人材の誘致、採用・就労の拡大による雇用の創出
- 1-2： 地域産業の競争力強化による雇用の創出
- 1-3： 若い世代の経済的安定
- 1-4： 経済の地域内循環の促進
- 2-1： 千曲市の魅力を発信するシティプロモーションの推進
- 2-2： 地域資源を生かした交流の拡大
- 2-3： 移住・定住の推進
- 2-4： 地方大学等の活用
- 2-5： 魅力的で誇りを持てる教育の提供
- 3-1： 結婚から妊娠・出産・育児に渡る切れ目ない支援
- 3-2： 子育て家庭の経済的負担の軽減
- 3-3： 協働による子育てコミュニティサイトの構築
- 3-4： 仕事と生活の調和の実現
- 4-2： 都市の再構築によるエリア再生
- 4-3： 歴史・文化資源を生かした交流拠点の形成
- 4-4： 公共施設及びインフラの更新・統廃合・長寿命化の推進
- 4-5： 地域防災の充実強化
- 4-6： 広域連携による施策の推進
- 5-1： 中高年が楽しみながら健康になれるスポーツのまちづくり
- 5-2： 生きがいがづくりと社会参加
- 5-3： 健診受診促進と健康づくりの推進
- 5-4： 介護予防の実施

(2) 基本目標の比較

① 満足度と重要度の平均スコア一覧

平成28年度と令和4年度のスコア平均を集計し、基本目標ごとに一覧表を作成した。平均をみると満足度が0.12点上がり、重要度も0.66点上がる結果となった。

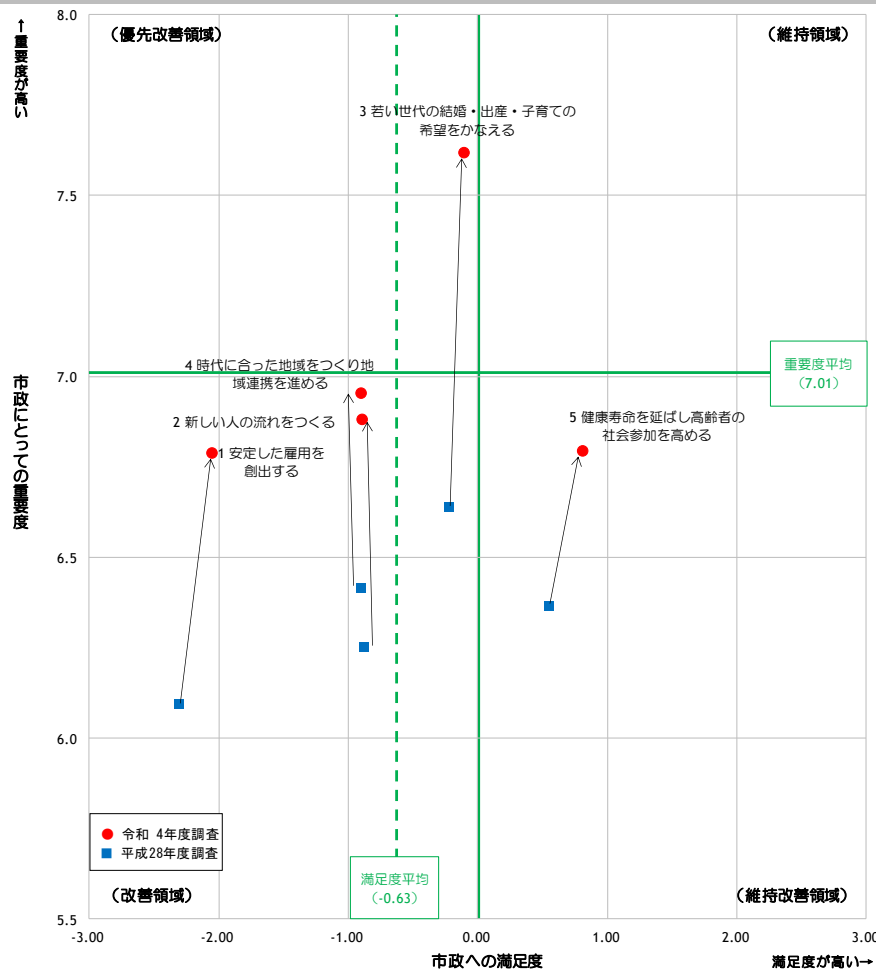
基本目標	満足度		重要度		比較	
	H28	R4	H28	R4	満足度	重要度
1 安定した雇用を創出する	-2.30	-2.05	6.09	6.79	0.25	0.70
2 新しい人の流れをつくる	-0.87	-0.90	6.25	6.88	-0.03	0.63
3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	-0.21	-0.11	6.64	7.62	0.10	0.98
4 時代に合った地域をつくり地域連携を進める	-0.90	-0.90	6.41	6.95	0.00	0.54
5 健康寿命を延ばし高齢者の社会参加を高める	0.55	0.80	6.36	6.79	0.25	0.43
平均	-0.75	-0.63	6.35	7.01	0.11	0.66

※満足度・重要度を四捨五入して計算

※加重平均ではなく単純平均で計算しているため、P.32の平均とは値が異なる

② 満足度と重要度の平均スコア推移

すべての項目で重要度の増加がみられる。満足度については「2 新しい人の流れをつくる」で減少がみられ、「4 時代に合った地域をつくり地域連携を進める」は変化がなかった。そのほかの3項目では増加する結果となった。



第二次千曲市総合計画

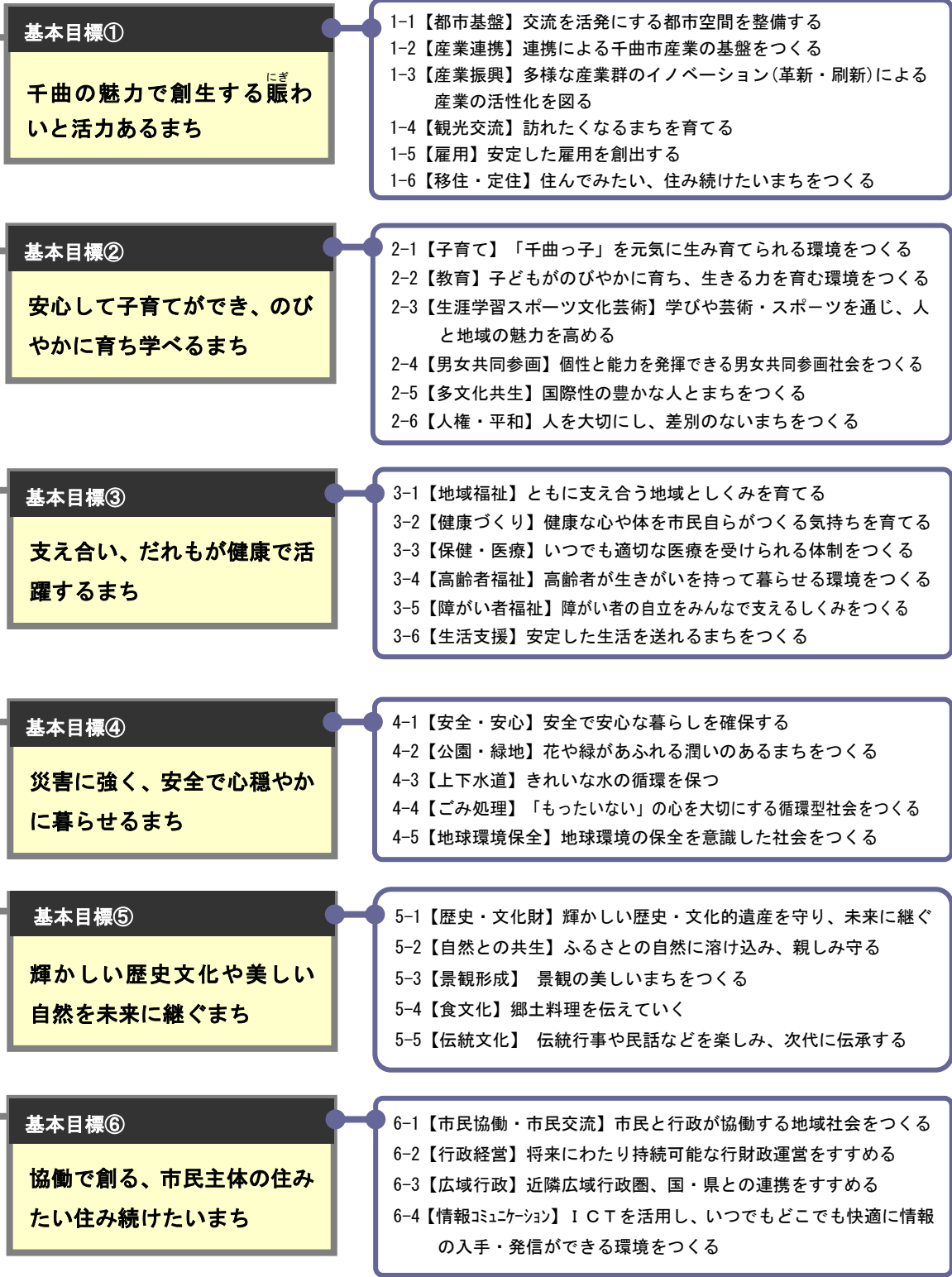
まちづくりの目標体系

【将来像】

【基本目標】

【達成方針】

科野しなのの国くにさらしなはにしな
 史都しとがにぎわう 信州の交流拠点 千曲



千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略と第二次千曲市総合計画（設問）整合

基本目標・具体的施策番号	項目名	市民意識（満足度）調査設問					
		R4 設問No.			H28設問No.		
基本目標1	安定した雇用を創出する						
1-1	企業・産業人材の誘致、採用・就労の拡大による雇用の創出	2	3	5	25	26	
1-2	地域産業の競争力強化による雇用の創出	2	3	4	25	26	27
1-3	若い世代の経済的安定	5	6			28	
1-4	経済の地域内循環の促進	2	3		25	26	
基本目標2	新しい人の流れをつくる						
2-1	千曲市の魅力を発信するシティプロモーションの推進	4	6		27	28	
2-2	地域資源を活かした交流の拡大	4	9	32	27	21	18
2-3	移住・定住の推進	3	6	19	26	28	17
2-4	地方大学等の活用	2	5	24	25		8
2-5	魅力的で誇りを持てる教育の提供	8			20		
基本目標3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる						
3-1	結婚から妊娠・出産・育児に渡る切れ目ない支援	7			19		
3-2	子育て家庭の経済的負担の軽減	7			19		
3-3	協働による子育てコミュニティサイトの構築	7			19		
3-4	仕事と生活の調和の実現	2	10		25	22	
基本目標4	時代に合った地域をつくり地域連携を進める						
4-1	新幹線新駅設置等による交流拠点機能の強化						
4-2	都市の再構築によるエリア再生	1	3		24	26	
4-3	歴史・文化資源を活かした交流拠点の形成	4	24	26	27	8	10
4-4	公共施設及びインフラの更新・統廃合・長寿命化の推進	1	30		24	31	
4-5	地域防災の充実強化	19			17		
4-6	広域連携による施策の推進	31			32		
基本目標5	健康寿命を延ばし高齢者の社会参加を高める						
5-1	中高年が楽しみながら健康になれるスポーツのまちづくり	9	14	20	21	2	13
5-2	生きがいづくりと社会参加	9	16		21	4	
5-3	健診受診促進と健康づくりの推進	14			2		
5-4	介護予防の実施	16			4		

